

葛飾区 特色ある施策・施設の一覧

No.	施策・施設名	主管課
1	区民と事業者の健康活動促進事業（愛称：モンチャレ）	政策経営部政策企画課
2	東京理科大学との相互協力	政策経営部政策企画課
3	金町駅前活動センター（カナマチぷらっと）	政策経営部政策企画課
4	生成 AI の活用	政策経営部DX戦略課
5	すぐやる活動	総務部すぐやる課
6	子ども区議会	総務部すぐやる課
7	「おもてなし」ができる職員の育成	総務部人事課
8	にこわ新小岩	地域振興部地域振興課
9	戸籍住民課窓口サービスの改善（総合窓口化）	地域振興部戸籍住民課
10	えきにこわ	地域振興部戸籍住民課
11	かつしか文学賞	地域振興部文化国際課
12	葛飾ブランド創出支援事業	産業観光部商工振興課
13	かつしかフードフェスタ	産業観光部商工振興課
14	町工場見本市（産業見本市）	産業観光部商工振興課
15	葛飾柴又寅さん記念館・山田洋次ミュージアム TORAsan cafe・葛飾区山本亭	産業観光部観光課
16	寅さんサミット	産業観光部観光課
17	こち亀記念館	産業観光部観光課

No.	施策・施設名	主管課
18	かつしか花いっぱいのもちづくり	環境部環境課
19	かつしかエコライフプラザ	環境部リサイクル清掃課
20	くらしのまるごと相談事業	福祉部くらしのまるごと相談課
21	うんどう教室	福祉部地域包括ケア担当課
22	運動習慣推進プラチナ・フィットネス	福祉部地域包括ケア担当課
23	社会福祉法人への事業委託による生活保護受給者 就労支援事業	福祉部西生活課
24	東京労働局及び墨田公共職業安定所と連携した生 活保護受給者等への就労支援事業	福祉部西生活課
25	健康プラザかつしか（「健康部（保健所）」「青戸保 健センター」「子ども総合センター」）	健康部地域保健課
26	旧松上小学校跡地を活用した病院誘致（イムス東京 葛飾総合病院の開設）	健康部地域保健課
27	子ども未来プラザ鎌倉	子育て支援部子育て政策課
28	子ども未来プラザ西新小岩	子育て支援部子育て政策課
29	子ども未来プラザ東四つ木	子育て支援部子育て政策課
30	かつしか出産応援給付金給付事業	子育て支援部子育て応援課
31	子ども2人乗せ自転車等購入費助成事業	子育て支援部子育て応援課
32	ベビーカー購入等費用助成事業	子育て支援部子育て応援課
33	葛飾区児童相談所	児童相談部児童相談課
34	子ども総合センター	児童相談部子ども家庭支援課
35	子育てひろば「いろは」	児童相談部子ども家庭支援課

No.	施策・施設名	主管課
36	中川かわまちづくり	都市整備部調整課
37	グリーンスローモビリティを用いた地域主体交通実証運行	都市整備部交通政策課
38	金町駅周辺の街づくり	都市整備部都市計画課
39	新小岩駅周辺の街づくり	都市整備部都市計画課
40	高砂駅周辺の踏切対策に伴う街づくり	都市整備部都市計画課
41	立石駅周辺地区街づくり	都市整備部都市計画課
42	新宿六丁目地区の街づくり	都市整備部都市計画課
43	堀切地区の街づくり	都市整備部都市計画課
44	防災街づくり（東四つ木、四つ木、東立石、堀切、西新小岩地区）	都市整備部都市計画課
45	地盤の液状化対策	都市整備部建築課
46	都市計画道路の整備	都市整備部道路建設課
47	歩道勾配改善事業	都市整備部道路補修課
48	葛飾区の公園づくり	都市整備部公園課
49	葛飾区科学教育センター「未来わくわく館」	教育委員会教育指導課
50	ポニースクールかつしか	教育委員会地域教育課
51	葛飾区郷土と天文の博物館	教育委員会生涯学習課
52	かつしか郷土かるた全区競技大会	教育委員会生涯学習課
53	葛飾区東金町運動場スポーツライミングセンター	教育委員会生涯スポーツ課

No.	施策・施設名	主管課
54	葛飾区立中央図書館	教育委員会中央図書館
55	葛飾区立立石図書館	教育委員会中央図書館
56	葛飾区立にいじゅく地区図書館	教育委員会中央図書館
57	開かれた議会への取組	区議会事務局

事業概要 (視察項目)	区民と事業者の健康活動促進事業（愛称：モンチャレ）
目的	区民の健康づくりに向けた行動変容を促し、健康寿命を延伸させ社会保障制度の持続可能性を高めながら、誰もがいきいきと健やかに暮らせるまちづくりを積極的に推進します。
概要	健康アプリ（健康に関するデータを分析・評価できるスマートフォンアプリ）を区民等に提供し、一人一人に最適な健康づくりの提案を行います。また、健康づくりの活動や成果に対して「かつしかP A Y（葛飾区内の商店街等で使える決済サービス）」に交換できるポイントを付与するなど、健康づくりに積極的に取り組むだけでなく、健康に関心が低い方も楽しく自然と健康になれる環境を整備します。 【開始】 令和6年10月1日 【対象】 区内在住・在勤・在学の18歳以上の方 【参加者数】 17,927人（R7/3/31時点） 【ポイント付与予定数（R7）】 71,255,100ポイント（1ポイント＝1円） 詳しくはこちら▲
担当課	政策経営部政策企画課 電話：03-5654-8177

事業概要 (視察項目)	東京理科大学との相互協力
目的	地域の教育力の向上や地域産業の活性化、地域イメージの向上、地域の活力向上など個性豊かで魅力ある街づくりを推進し、あらゆる世代の区民が「元気」で「生き生き」と暮らせるまちを築いていきます。
概要	平成 18 年度からスタートした「基本計画」に大学誘致を位置付け、公募した結果、「東京理科大学」が進出することとなり、平成 25 年 4 月に葛飾キャンパス（工学部・先進工学部）が開学しました。令和 7 年 4 月に薬学部が葛飾キャンパスへ移転して現在の 3 学部体制になっています。 大学と公園が一体化したパーク型キャンパスで、図書館は学生だけでなく区民も利用可能であり、地域に開放された施設として、若さあふれる文化と科学の発信地となっています。 区と大学では、基本協定書に基づき、相互の人的・知的・物的資源の交流を図り、双方の発展に寄与するため、相互に協力するものとしています。毎年、協議を行い、教育分野のみならず、街づくり・産業・文化・福祉など様々な分野における協力について確認を行っています。区が主催する科学体験教室、各種イベントへの教員や学生の参画、大学イベントへの協力などを行っています。また、地域イベントへの学生の参画や大学で開催する公開講座への区民参加なども積極的に進めています。 <相互協力事例> 災害協定に基づく協力： 地震、洪水などの水害、その他大規模災害に備えた食料品・生活物資等の提供及び備蓄、大規模災害発生時の駅前滞留者及び帰宅困難者の支援・避難者受入、区職員及び学生・教職員等による救護活動の相互協力などを行います。 教育委員会との協定： 児童生徒の学習活動の支援、教員の養成及び研修に関すること、教育における課題研究への協力、科学啓発活動の支援、生涯学習活動の支援などを実施します。 葛飾区における地域包括ケアシステムの推進に向けた共同研究： 区内の日常生活圏域ごとに、高齢者の日常生活を取り巻く現状及び地域の分析を行い、各圏域の特性及び課題を明らかにするとともに、フィールドワークを通してその背景及び要因を洗い出すことで、高齢者を取り巻く各圏域の課題を個別にどのように戦略的に解決すべきかの検証を行います。 葛飾区産学公連携推進事業： 葛飾区、東京理科大学及び区内事業者の連携推進に向けた事業として、区内で産学連携に興味のある企業を募り、企業・東京理科大学・区で共同事業体を作って産学連携事業の事例を創出する取組や、テクノロジーカフェとして区内企業が東京理科大学の研究室と交流する機会を提供します。   写真提供：東京理科大学
担当課	政策経営部 政策企画課 電話 03-5654-8107

事業概要 (視察項目)	金町駅前活動センター（カナマチぷらっと）
目的	様々な世代の方が広く活用できる複合施設です。区民の皆様に多様な活動及び生涯学習の場を提供することで、地域の賑わいを創出し、地域の活性化、文化の振興及び区民の福祉向上を図ります。
概要	1 施設概要 所在地：葛飾区金町六丁目5番1号 ベルトーレ金町3階 開館時間：午前9時～午後9時 休館日：年末年始（12月29日から 翌年1月3日まで）、 施設メンテナンス日  2 主な施設 (1) ワーク&スタディ（テレワークブース） テレワークや自学などに利用できるブースです。 (2) 音楽練習室 各種楽器、音響機材を用意しています。楽器の持ち込みも可能です。 (3) 視聴覚室 プロジェクター、大型スクリーンがあり、映画の上映や講演会、ダンス、ヨガ、ストレッチなどに利用できます。 (4) 料理実習室 IHコンロやオーブン、食器類を取り揃えており、料理教室や試食会に活用できます。食材をお持ち込みいただくことで自由に料理を楽しめます。 (5) 集会室 会議、講座、研修、説明会、講演会等に使用できます。 (6) 創作室 工作、木工作、描画等の講座を不定期で開催しています。 (7) キッズスペース 玩具もある広いスペースで楽しく遊べます。乳幼児エリアには授乳室、調乳用ウォーターサーバーを完備。乳幼児のお子様でも安心して遊べます。  <ワーク&スタディ>  <創作室>  <料理実習室>
担当課	政策経営部 政策企画課 電話 03-5654-8107

事業概要 (視察項目)	生成 AI の活用
目的	葛飾区固有情報を取り込んで、職員の質問に対して回答を生成する生成 AI を利用して、業務の効率化、省力化や区民サービスの向上を進めていきます。
概要	【導入年度】 令和 6（2024）年度 【主な活用方法】 令和 6 年 6 月から区固有情報※を取り込んで回答を作成することができる「葛飾区生成 AI（かつしか Chat）」の全庁利用を開始しました。 文章の要約やキャッチコピーの案出し、議会議事録の要約など、職員の業務省力化に向けた活用を進めています。 ※区固有情報：例規集（条例・規則等）、葛飾区基本計画をはじめとした各種計画類、契約・会計などのマニュアル類、わたしの便利帳など 1 内部業務の効率化 生成 AI が学習している既存の情報に加え、区固有情報を参照できるデータベースにより、新施策案や PR 文の提案、過去の議会議事録の抽出などに活用し、業務の効率化や省力化につなげています。 2 区民サービスの向上 区民サービス向上に向けて、窓口職場の若手職員とベテラン職員での窓口対応レベルの差を解消するために、生成 AI を活用した取組を検討しました。検討の結果、業務手引き・マニュアルなどのデータを登録した生成 AI に、来庁した区民の相談内容を入力し、得られた確認結果を踏まえて職員が適切に対応できる仕組みを考案しました。 ただ、こうした窓口対応を適切に行うためには、区の業務手引きや業務マニュアルだけでは足りないと考え、行政の参考資料を出版している会社にもご協力いただき、関係する出版資料をデータとして投入し、この仕組みの検証を現在進めています。 現在、検証している生成 AI を使用して窓口対応をすると、来庁者と対話しながら入力作業も行うことになり、聞き漏れや生成 AI への入力漏れの恐れもあるため、生成 AI が誤った確認結果を生成してしまい、結果として不適切なご案内につながってしまいます。その防止策として、窓口での対話音声を認識し、スムーズに確認結果が表示される仕組みを考案しました。令和 7 年 9 月に行政特化型 AI エージェントシステムの検証を一部の窓口部署で実施して、令和 8 年度の導入を目指します。
担当課	政策経営部 DX 戦略課 電話 03-5654-8610

事業概要 (視察項目)	すぐやる活動
目的	区民対応のスピードアップを図るため全庁を挙げて区民第一、現場第一の視点ですぐやる体制の構築を目指す。
概要	＜開始年度＞平成 22 年度 ＜すぐやる課の設置＞ 平成 22 年 4 月に、区民が区役所のどこに相談していいかわからないという場合に、迅速かつ的確に応える窓口として「すぐやる担当課」を設置した。 平成 25 年度からは、区民により覚えやすく親しみやすい「すぐやる課」へと名称を変更した。 平成 29 年度からは、広報課で所管していた「区長へのはがき」や「区民と区長との意見交換会」などの広聴業務もすぐやる課の所管とすることで、さまざまな機会を捉えて区民の声を受け止める業務を一本化した。 ＜すぐやる課の対応＞ すぐやる課が区民から相談を受けた場合、詳しく内容を聴き、区で処理できるケースについては、所管課と連携し早期解決を図っている。 また、ハチの危険回避や現場の状況がわからないケースなどについては、すぐやる課が出動し、現場の状況によって応急処置や所管課への速やかな引き継ぎを行っている。 さらに区で解決できないケースについては、その説明をするとともに、関係機関の紹介や助言などを行い、問題の解決が図れるよう努めている。   ＜相談実績とその傾向＞ 開設から令和 6 年度末までの 15 年間の相談累積は 51,770 件である。 主な相談内容は、ハチに関する相談 10,329 件、道路や放置自転車に関する相談 6,789 件、樹木の越境などに関する相談 1,176 件、ごみ集積所や不法投棄に関する相談 2,386 件で、その他にも様々な分野にわたる相談があり、区の所管ではないケースや所管を特定しにくいケースも多い。 なお、葛飾区公式ホームページに毎月の実績を掲載している。
担当課	総務部　すぐやる課　電話 03-5654-8448

事業概要 (視察項目)	子ども区議会
目的	次代を担う小・中学生に、議会制民主主義への理解と区政への関心を深めてもらうとともに、小・中学生たちから見た区に対する要望や意見を聴取し、今後の区政の参考とする。
概要	<開始年度> 平成9年度 <対 象> 小学5年生から中学3年生 <募集人数> 40名程度 <事業日程> 5月 募集（広報紙・ホームページなどへの掲載及び区立小・中学校を通して児童・生徒へのチラシ配布） 8月 事前学習会（全員） 12月 子ども区議会開催（2学期終業式当日に開催） 3月 子ども区議会会議録配布 <当日の流れ> 14時 本会議開会 15時30分 本会議休憩 委員会開会 16時30分 本会議再開 子ども区議会決議 17時 本会議閉会 <経費> 約42万円 （記念品代、子ども議員飲料代、傷害保険料他） 
担当課	総務部 すぐやる課 電話 03-5654-8448 （教育委員会事務局 教育指導課 電話 03-5654-8471）

事業概要 (視察項目)	「おもてなし」ができる職員の育成
目的	「葛飾区人材育成基本方針」が求める職員像である『「おもてなし」の意義を理解し、実践できる職員』により、区民から喜ばれ、信頼される職員を育成する。
概要	〈開始年度〉平成 22 年度 〈対 象〉全職員 〈事業概要〉 1 若手職員ハンドブック 働く上で必須の基礎知識及び区民対応に役立つ事柄を事細やかに記載し、平成 25 年度から新任職員に配付。このハンドブックを身近な資料とし、日頃から基礎知識を身に付けたうえで、区民サービスの向上と行政のスピードアップを目指す。 2 新任研修 仕事のための基礎知識 若手職員ハンドブックを利用し、職員としての心構えや仕事の進め方などの基礎知識を学ぶ。 3 新任研修 区職員としての行動・接遇研修 「おもてなしの意義を理解し、実践する職員」を目指し、特に、区民との対応や職場でのふるまいの良し悪しを決定づける基本的な行動や接遇を身に付け、習慣づけていく。 4 2 年目職員研修 マーケティングリサーチ研修 マーケティングリサーチの基礎を学び、社会潮流の変化や区民が求めるニーズを適切に捉え、効果的な施策を実践できる職員を育成する。 5 経営感覚育成研修（試行） 主任 1～3 年目の希望する職員を対象として、様々な研修プログラムにより、政策立案や区財政の仕組みなどを学び、経営感覚を持った職員を育成する。 6 区民対応力向上研修（窓口職場の職員向け） 窓口等の区民対応、ハードクレーム対応、カスハラに対する組織的対応を学ぶ。 7 ユニバーサルサービス研修 区民対応力の向上を図るため、管理職及び一般職員を対象に、区民に対し情報発信をする際のユニバーサルデザインについて学ぶ。 8 職場プロデュース研修 職場単位での研修を支援する事業。窓口職場にとどまらず、区民と接する機会の多い現場職場や、職員の異動により定期的な研修を必要とする職場、おもてなしサービスの向上にチャレンジしている職場への支援を行う。 若手職員ハンドブック(表紙)
担当課	総務部 人事課 電話 03-5698-2611

事業概要 (視察項目)	にこわ新小岩
目的	地域活動、子ども、子育て、健康並びに賑わいの拠点として令和4年7月に開設しました。地域活動センター、子ども発達センター、保健センター、子ども未来プラザ及び保育園の複合施設です。
概要	1 施設概要 (1) 所在地 葛飾区西新小岩四丁目33番2号 (2) 建物概要 地上4階建て、延床面積5,218.83㎡ (3) 施設開設日 令和4年7月19日 2 各施設の主な事業 (1) 新小岩地域活動センター 地域団体等が活動に利用する多目的ホール、活動室等を管理する施設です。 【貸出施設】多目的ホール、活動室、調理室、和室、スタジオ、視聴覚室、音楽室、レク・イベントスペース (2) 子ども発達センター新小岩分室 様々な発達の課題がある子どもの支援をする療育施設です。 【事業内容】児童発達支援、居宅訪問型児童発達支援 (3) 新小岩保健センター 乳幼児健康診査や健康に関する相談窓口として区民の健康を支える施設です。 【事業内容】乳幼児健康診査、子どもの歯科健診、健康相談、自立支援医療費制度（精神通院医療）、難病医療費助成、介護保険等の申請受付、がん検診 (4) 子ども未来プラザ西新小岩 妊娠期から子どもが成人するまで切れ目のない支援を行う地域の身近な子育て支援の拠点施設です。 【事業内容】ゆりかご葛飾、産前産後サポート、いっとき預かり、交流保育事業「笑みフル」、もぐもぐランチ、あそびの広場、まなびの広場 (5) 上平井保育園 保護者が働いているなどの理由により保育を必要とする乳幼児を預かり、保育をすることを目的とした通所施設です。 【事業内容】11時間保育、延長保育、障害児保育、緊急一時保育 外観（南側） 多目的ホール
担当課	地域振興部 地域振興課 電話03-3696-0080

事業概要 (視察項目)	戸籍住民課窓口サービスの改善（総合窓口化）
目的	区民サービス向上のため、来庁した区民が数多くの窓口を訪問することなく、迅速に手続きを行えるようにする。
概要	1 少ない窓口で手続きを行うための総合窓口化 平成 17 年 8 月から住所異動に伴う国民健康保険、介護保険などの他課所管業務の一部を、それぞれの窓口を回ることなく戸籍住民課の窓口か所で手続きできるようにした。 以後、税証明書の交付や転入に伴う入学手続きなど、取り扱い業務を順次拡大し、平成 24 年 10 月からは出生や住所変更に伴う児童手当の申請、乳児医療証などの交付申請、後期高齢者医療制度の届け出など新たに 5 業務を追加し、現在 18 業務となっている。 2 区民が迷わずに、迅速に手続きを行うための窓口整備 ①分かりやすい窓口 ・ 5 種類の分かりやすい窓口レイアウト ・ 文字の色や大きさなど、ユニバーサルデザインに配慮した案内表示 ・ 案内係（フロアマネージャー）…窓口案内や申請書記入方法を補助 ②少ない待ち時間で手続きをできる窓口 ・ 番号発券機…用件に応じた番号札で該当の窓口から順番に呼ぶことにより待ち時間を短縮 ・ 窓口案内表示パネル…音声だけでなくパネルにより呼出し番号を表示 ③プライバシーに配慮した窓口 ・ 仕切りの設置…ローカウンターに間仕切り及びＬ字型の目隠しを設置。 ・ 相談ブースの設置…仕切りに囲まれた相談ブースを設置することで特に配慮が必要なケースでも周囲を気にすることなく手続きできる。
担当課	地域振興部 戸籍住民課 電話 03-5654-8189



事業概要 (視察項目)	えきにこわ  えきにこわ
目的	JR 新小岩駅南口に JR 東日本が建設した「JR 新小岩南口ビル」の 6 階部分を区が借り上げ、令和 5 年 10 月 1 日にオープンしました。区民事務所や多目的ひろばなど、様々な機能が集まった複合施設です。
概要	1 施設概要 (1) 所在地 葛飾区新小岩一丁目 45 番 1 号 (2) 建物概要 面積 (6 階部分) : 1,034 m² (3) 開設日 令和 5 年 10 月 1 日 2 各エリアの概要 (1) 新小岩区民事務所 新小岩北区民事務所と新小岩区民サービスコーナーが移転し、新小岩区民事務所として開設しました。平日夜間や休日も開庁しております。(年末年始を始め一部閉庁日があります。詳しくは区 HP をご覧ください。) (2) 多目的ひろば 地域の団体などがイベントや各種展示などを行うことができる貸し出しスペースです。予約がない時はフリースペースとして利用できます。 (3) 多文化共生と地域活動に関するコーナー 以下の内容に関する資料、書籍の閲覧ができます。 ◆日本語を学ぶ・教える ◆生活情報やルールを知る ◆日本や外国について知る ◆区のイベント・講座情報 ◆自治町会の活動や加入について知る (4) ワーク&スタディブース 個室 (6 室) とカウンター席 (10 席) があります。利用には個人利用登録が必要です。 (5) 新小岩図書サービスカウンター 図書館の利用登録や、予約した資料の貸出・返却ができます。(蔵書資料はありません。) また資料の検索や予約ができる検索機 (OPAC) を設置しています。 【内観】 【外観】   
担当課	地域振興部 戸籍住民課 電話 03-5654-8189

事業概要 (視察項目)	かつしか文学賞
目 的	「文化芸術創造のまちかつしか推進事業」として、下町情緒あふれる人情豊かなまち「ふるさと葛飾」の魅力を多くの方々に知っていただくとともに、葛飾から新たな文化を発信していくことを目的に、葛飾らしさを発信できるような心のふれあいを題材としたオリジナル文学作品を公募する。入賞作品を作品集として発行するほか、大賞作品を脚本化し、キャスト公募により区民が出演する舞台公演に繋げる。
概 要	1 「第6回かつしか文学賞」（令和7年度～9年度） 実績中 令和7年度 作品公募, 受賞作品決定, 作品集発行 令和8年度（予定）大賞作品の脚本化。キャスト公募・決定 令和9年度（予定）大賞作品の舞台公演（かめありリリオホール） 2 「第5回かつしか文学賞」（令和4年度～6年度） 実績 令和4年度 作品公募（応募総数:149 作品）, 受賞作品決定, 作品集発行 令和5年度 大賞作品「博志の一週間」脚本化。キャスト公募・決定（22 名） ワークショップ開催(令和5年12月より4回) 令和6年度 「博志の一週間」舞台公演（かめありリリオホール） 脚本：シライケイタ, 監修：佐藤B作, 演出：永井寛孝, 音楽監督：園田容子 3 「第4回かつしか文学賞」（令和元年度～4年度） 実績 令和元年度 作品公募（応募総数 116 作品）, 受賞作品決定, 作品集発行 令和2年度 大賞作品「立石ロッキー」を脚本化。キャスト公募・決定（32 名） 令和3年度 新型コロナウイルスの影響により舞台公演を令和4年度に延期 令和4年度 「立石ロッキー」舞台公演（かめありリリオホール） 脚本：シライケイタ, 演出：永井寛孝, 監修：佐藤B作 4 「第3回かつしか文学賞」（平成28年度～30年度） 実績 平成28年度 作品公募（応募総数 124 作品）, 受賞作品決定, 作品集発行 平成29年度 大賞作品「天のこと」を脚本化。キャスト公募・決定 平成30年度 「天のこと」舞台公演（かめありリリオホール） 脚本：シライケイタ 演出：佐藤B作 5 「第2回かつしか文学賞」（平成25年度～27年度） 実績 平成25年度 作品公募（応募総数 163 作品）, 受賞作品決定, 作品集発行 平成26年度 大賞作品「天晴れ オコちゃん」を脚本化。キャスト公募・決定 平成27年度 「天晴れ オコちゃん」舞台公演（かめありリリオホール） 監修：佐藤B作, 脚本・演出：中島淳彦 6 「第1回かつしか文学賞」（平成22年度～24年度） 実績 平成22年度 作品公募（応募総数 169 作品）, 受賞作品決定 平成23年度 作品集発行, 大賞作品「広い空」脚本化, キャスト公募・決定 平成24年度 「広い空」舞台公演（かめありリリオホール） 演出：佐藤B作, 脚本：中島淳彦
担当課	地域振興部 文化国際課 電話：03-5670-2259

事業概要 (視察項目)	葛飾ブランド創出支援事業
目的	区内製造業者の高い技術を駆使して製造された製品等を、葛飾ブランド「葛飾町工場物語」として認定し、その製品等にまつわるエピソードと併せてストーリー性を持たせPRし、葛飾産製品の販路拡大に結び付けていく。
概要	＜開始年度＞ 平成19年度 ＜対象＞ 区内に主たる事業所を置く事業者が製造する製品・部品・加工技術 ＜認定数＞ 5製品程度（令和7年度当初で103製品・部品・技術を認定） ＜認定企業への支援＞ ・見本市や販売会への出展 （国際雑貨EXPO、町工場見本市、葛飾区産業フェア、かつしかミライテラス、葛飾町工場物語販売会） ・マンガ版認定品ストーリー集（製品、エピソードを紹介）を発行 ・各地区センター等の区内施設への認定企業パネル展示 ・認定製品技術等のプロモーション手法の習得を支援 ＜推進体制＞ ・区と東京商工会議所葛飾支部との共同事業として実施 ・推進協議会、認定審査委員会の設置 ＜事業日程＞ 4月 募集（広報紙・ホームページ掲載） 7月 1次審査 8月 最終審査 漫画家公募 10月 認定証授与式（葛飾区産業フェア） 1月 ストーリー集発行 ＜見本市等出展＞ 7月 国際雑貨EXPO（東京ビッグサイト） 8月 KATSUSHIKA 町工場百貨市（KITTE丸の内） 10月 葛飾区産業フェア（テクノプラザかつしか） 11月頃 ビジネスチャンスEXPO（東京ビッグサイト） 12月 KATSUSHIKA 町工場百貨市（アリオ亀有店） 2月 町工場見本市（東京国際フォーラム） 年度内2回 かつしかミライテラス
担当課	産業観光部 商工振興課 電話 03-3838-5587

事業概要 (視察項目)	かつしかフードフェスタ
目 的	葛飾区商店街連合会、葛飾区観光協会等との協働による、「食」をテーマとしたイベント。区内外に葛飾区の「食文化」の魅力を広く発信することで、区内に数多くある飲食業・食品製造業等を支援するとともに、区内商店街の活性化と新たな観光資源の創出を目的としている。
概 要	＜趣 旨＞ 「Re-visit（リビジット：再訪問）」をコンセプトとして、フードフェスタをきっかけに、来場者が出展者の店舗に「再訪問」することを図る。 ＜開始年度＞ 平成 26 年度（平成 25 年度にプレイベントを開催） ＜実施方法＞ 葛飾区フードフェスタ実行委員会主催。実行委員会の構成は、葛飾区・葛飾区商店街連合会・葛飾区観光協会・葛飾区食品衛生協会・東京商工会議所葛飾支部。出展者は公募により決定。 ＜出展資格＞ 葛飾区内に固定店舗を構え、募集業種に対応した営業許可を有していること等。 ＜令和 4 年度実績＞ 開 催 日 令和 4 年 11 月 19 日（土）、20 日（日） 会 場 新小岩公園 出 展 数 37 店 ＜令和 5 年度実績＞ 開 催 日 令和 5 年 11 月 25 日（土）、26 日（日） 会 場 新小岩公園 出 展 数 32 店 ＜令和 6 年度実績＞ 開 催 日 令和 6 年 11 月 16 日（土）、17 日（日） 会 場 新小岩公園 出 展 数 40 店 ＜令和 7 年度予定＞ 開 催 日 令和 7 年 11 月 15 日（土）、16 日（日） 会 場 新小岩公園 出 展 数 42 店
担当課	産業観光部 商工振興課 電話 03-3838-5559

事業概要 (視察項目)	町工場見本市（産業見本市）
目的	多種にわたる区内製造業の中小企業を集め、関係団体と協働して区の主催する見本市を区外で開催することにより、区内外の発注企業との商談の機会の充実を図り、新規顧客の開拓を支援する。 また、同時に出展を通じて、企業の商品力の向上、商談スキルの習得、マーケティング力の強化などによる総合的な企業体質強化の支援策として実施する。
概要	<令和7年度の概要（予定）> 1 日 時 令和8年2月19日（木）、20日（金） 2 会 場 東京国際フォーラム ホールE1 （千代田区丸の内3-5-1 JR有楽町駅から徒歩1分） 3 出展予定数 80社（区内70社、区外10社） <令和6年度実績> 1 日 時 令和7年1月29日（水）、30日（木）、31日（金） 2 会 場 東京国際展示場 東ホール ENEX2025内で併催 （江東区有明3-11-1） 3 出展数 41社（区内36社、区外5社） 4 来場数 42,089人（併催展入場者数含む）
担当課	産業観光部 商工振興課 電話 03-3838-5587

事業概要 (視察項目)	1 葛飾柴又寅さん記念館・山田洋次ミュージアム・TORAsan cafe 2 葛飾区山本亭
目的	1 「葛飾柴又寅さん記念館」は葛飾・柴又が全国的に知られるきっかけとなった、日本映画を代表する『男はつらいよ』の業績をとどめ、映画の世界を再現することで、日本人の心のふるさとを感じてもらうとともに、下町情緒あふれる観光拠点として、平成9年に開館。 「山田洋次ミュージアム」は、平成24年にオープン。山田洋次監督の50年の歩みを振り返り、映画づくりへの想い、描いてきた人物像、社会的背景を照らし合わせて鑑賞することができる。 2 「葛飾区山本亭」は地元ゆかりの実業家が、大正末期から昭和初期にかけて増改築した邸宅。その時代の精神を体現した近代和風建築の木造の民家で、趣ある日本庭園は米国の専門誌において日本庭園ランキングで常に上位にランクされている。その歴史的価値などから区が譲り受け、平成3年から公開。（東京都選定歴史的建造物・葛飾区登録有形文化財）
概要	「葛飾柴又寅さん記念館・山田洋次ミュージアム」 1 施設概要 所在地 葛飾区柴又 6-22-19 構造等 葛飾区観光文化センター A棟：RC造地下1階・地上1階建て B棟：鉄骨造・地上2階建て 床面積 葛飾柴又寅さん記念館：約530㎡ 山田洋次ミュージアム：約175㎡ TORAsan cafe：約95㎡ 光庭：約365㎡ 他に休憩室等 2 開館時間・休館日・入館料 開館時間 午前9時～午後5時 休館日 第3火曜日（第3火曜日が祝日の場合は直後の平日）及び12月の第3火曜日～木曜日（令和7年は12月16日～18日） 入館料（両館共通） 一般500円、小中学生300円、他に団体、シニア割引あり（山本亭とのセット割引あり） 3 展示物のリニューアルについて 定期的な展示物の入替えを行うことで、新たな魅力を付加し、来館者に繰返し訪れていただける仕掛けをしている。直近では、令和7年4月にリニューアルオープンした。 「葛飾区山本亭」 1 施設概要 所在地 葛飾区柴又 7-19-32 構造等 木造（一部2階建て） 床面積 居宅581㎡、日本庭園890㎡、茶室53㎡ 2 開館時間・休館日・入館料 開館時間 午前9時～午後5時 休館日 第3火曜日（第3火曜日が祝日の場合は直後の平日）及び12月の第3火曜日～木曜日（令和7年は12月16日～18日） 入館料 一般100円、中学生以下無料（寅さん記念館とのセット割引あり）（茶室や居室の貸切り利用もあります）
担当課	産業観光部 観光課 電話 03-3838-5558



葛飾柴又寅さん記念館©松竹樹



山田洋次ミュージアム©松竹樹



事業概要 (視察項目)	寅さんサミット
目的	～日本の原風景を守り、後世に伝える～をテーマに、映画『男はつらいよ』のロケ地となった各地域が大切にしている風景や文化、産業、民族芸能などの地域資源を披露し、その価値や魅力を発信するとともに、相互の交流などを通じて、各地域の活性化に貢献する。
概要	テーマ：日本の原風景を守り、後世に伝える 開催日：令和7年11月1日（土）、2日（日） 会場：帝釈天参道、特設会場（柴又7-9）、 葛飾柴又寅さん記念館、葛飾区山本亭 ほか 参加自治体数：23 地域（予定） 主催者：寅さんサミット実行委員会 イベント概要（予定） ○サミット ～日本の原風景について考える～ ・各ロケ地の紹介・PR ○文化交流イベント ～各地の文化に触れる～ ・参加する各地域ならではの文化・芸能・舞踊の紹介 ○産業交流イベント ～各地の名産品・グルメを楽しむ～ ・名品・特産品の展示、販売 ・寅さんサミット限定商品の開発・販売 ○おもてなしイベント ～映画『男はつらいよ』の世界を楽しむ～ ・寅さんサミット 2025 オリジナル缶バッジの作成 ※写真は2024の様子
担当課	産業観光部 観光課 電話 03-3838-5558

事業概要 (視察項目)	こち亀記念館			
目 的	「こち亀記念館」は、亀有地域の観光の中心として、様々な施策を推進することで回遊性を向上させ、これまで以上の地域活性化及び商店街振興を図ることで、地域の発展に寄与することを目的とする。 【参考】亀有を舞台とした漫画『こちら葛飾区亀有公園前派出所』の主人公「両津勘吉」（通称、「両さん」）が自分の勤務する派出所の上に自分の記念館を建ててしまったというストーリーのもと、こち亀作品や亀有の魅力を楽しみながら体感できる観光施設として、令和7年3月に開館。			
概 要	1 施設概要			 こち亀記念館
	所在地 葛飾区亀有三丁目 32 番 17 号			
	構造等 RC+鉄骨造 5 階建て			
	床面積 約 540 m ²			
	2 開館時間・休館日・入館料			
	開館時間 午前 10 時～午後 6 時 (最終入館 午後 5 時 20 分)			
	休館日 第 3 火曜日 (第 3 火曜日が祝日の場合は直後の平日)			
	入館料			
		大人	子ども	未就学児
	一般	700 円	300 円	無料
	葛飾区民	500 円	100 円	
	※葛飾区民には、区内在学及び在勤を含みます。			
	※団体 (20 名以上) でのご来館の場合、料金が 2 割引きとなります。			
	※障がい者手帳をお持ちの方と介護者 (同行者) 1 名は無料です。			
	3 アクセス			
	電車 JR 亀有駅下車 徒歩 3 分			
	バス 京成電鉄「青砥駅」より			
	青砥駅入口 京成バス「新小 53」系統 亀有駅下車 徒歩 3 分			
	JR 総武本線「新小岩駅」より			
	新小岩駅前 京成タウンバス「新小 58」系統 亀有駅下車 徒歩 3 分			
	※当館には駐輪場・駐車場がございません。公共交通機関をご利用ください。			
	©秋本治・アトリエビーだま／集英社			
担当課	産業観光部 観光課 電話 03-3838-5558			

事業概要 (視察項目)	かつしか花いっぱいのもちづくり
目的	花いっぱいの活動を区民・団体・事業者・区が協働で進める「まちづくり」「コミュニティの形成」
概要	本区では基本計画の重要プロジェクトの一つとして「花いっぱいのまちづくり」を推進しています。 駅前や公園、道路や公共施設など多くの人が自由に往来する場所で、花壇やコンテナ、ハンギングバスケットなど、様々な方法で花を育てる活動が行われています。区では、地域の人々の目に触れる公開性のある場所で緑と花を育てる活動を行う団体には、花苗、種、球根等を配布するなど様々な支援を行っています。 区民、団体、事業者及び区が、相互に連携・協働のパートナーとして活動する仕組みをつくり、花いっぱいのまちづくり活動の拡大及び活性化を図ることを目的として、「かつしか花いっぱいのまちづくり推進協議会」を平成 26 年 9 月に発足しました。協議会では、公共空間への花の新たな展開を具体化するため、プロジェクトチームを平成 28 年 4 月に立ち上げ、ローコストでローメンテナンスな公共空間への花の新たな展開手法「立体型花壇フラワーメリーゴーランド」を考案しました。令和 7 年 4 月現在区内の駅前や公共施設等に 51 基設置しています。 また、区内の花いっぱいのまちづくり活動を紹介するため、平成 27 年 4 月に花いっぱいのまちづくりホームページを開設いたしました。コンテンツは活動団体が投稿するだけでなく、ボランティアの「花いっぱいレポーター」が取材を行い更新しています。  葛飾区役所中庭機械棟 2 階 「緑と花のいこいガーデン」  J R 亀有駅南口に設置している フラワーメリーゴーランド 花いっぱいのまちづくりホームページ URL https://www.hanaichi-katsushika.jp/ 
担当課	環境部 環境課 電話 03-5654-8239

事業概要 (視察項目)	かつしかエコライフプラザ
目的	区民や事業者がより主体的・積極的にエコライフや3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）に取り組むため情報提供、学習、実践、活動、人材育成の拠点として開設（立石図書館との複合施設）
概要	<施設開設日>平成 23 年 6 月 30 日 <延床面積>2,478 m²（建物全体） <施設の特徴>屋上緑化・太陽光発電システム（屋上） ・雨水利用（トイレ洗浄水・樹木散水） <事業概要> ①リユース家具展示・販売コーナー 粗大ごみとして出された家具の中から使えるものを修理して、展示・販売を行う。また、食品ロス削減を目的として、フードドライブの常設窓口を設置。 ②日用不用品販売コーナー 区民から無償提供を受けた新品同様の日用品（衣類・小物など）の展示・販売及び区オリジナル再生品（トイレットペーパー）の販売 ③エコ校房 不要となったものを再生利用するための講座や、廃材等を使った工作教室の実施 ④研修室 講座、講演会の実施のほか、登録団体や一般の方への貸し出しも行います（有料・定員 100 名） ⑤展示・学習コーナー 環境や3Rに関するパネル展示、分別ゲームや発電装置等による体験型の展示 ⑥環境・3R情報コーナー 環境やごみ減量に関する書籍、映像資料を備えています。
担当課	環境部 リサイクル清掃課 電話 03-5654-8273

事業概要 (視察項目)	くらしのまると相談事業
目的	高齢・障害・子ども・生活困窮等、世帯の様々な悩みを総合的に受け止め、その人らしく地域で暮らしていけるよう支援するため、一人一人の実情に寄り添った支援体制を構築します。
概要	年齢や収入、障害の有無などにかかわらず、生活上の様々な不安や課題を、世帯単位等でまると受け止め、寄り添いながら支援していくため、「くらしのまると相談課」を令和5年4月に新設し、包括的な支援を実施しています。 ① まると <u>くらしのまると相談窓口の設置（包括的相談支援事業）</u> ヤングケアラーやダブルケア、8050 問題等、個人や世帯、家族が抱える多様な課題を福祉等の専門職がまると受け止め、寄り添いながら状況を把握し、解決方法を一緒に考えながら支援します。  ② こちらから <u>出向く支援の実施（アウトリーチ等事業）</u> 潜在的な課題を抱えつつも、自ら相談することが難しい方などに、自宅への訪問（アウトリーチ）等により積極的に働きかけて、信頼関係を築きながら相談や支援につなげます。 ③ 継続して <u>つながり続ける支援（伴走支援）</u> すぐに解決が困難な複数の課題や制度の狭間の課題を抱える世帯に対し、寄り添いながら現状を把握し、継続的な関わりを実施します。 ④ チームで <u>支援関係機関による連携支援（多機関協働事業）</u> くらしのまると相談窓口での相談や、支援関係機関等で把握した相談のうち、複数の課題や制度の狭間の課題を抱える世帯に対し、支援会議（社会福祉法第106条の6）等の仕組みを活用して、情報共有や支援関係機関の役割分担、支援の方向性の整理等の調整を行い、チームで世帯を支援します。 ⑤ 地域とのつながり <u>地域参加支援の実施（参加支援事業）</u> 本人・世帯のニーズや抱える課題を把握したうえで、必要に応じて、地域のボランティア団体等の活動への参加について調整し、参加支援を行います。
担当課	福祉部 くらしのまると相談課 電話 03-5654-6388

事業概要 (視察項目)	うんどう教室								
目的	高齢者がいつまでも元気で自立した生活を送れるよう、公園に設置した専用のうんどう器具を使用して「つまずき」や「ふらつき」を予防するための運動を習慣づける								
概要	＜開始年度＞ 平成 23 年度 ＜対象者＞ おおむね 65 歳以上の区民 ＜実施日時・開催場所＞ 各公園毎月 2 回、1 時間 ① 東金町四丁目平成公園 ② 高砂北公園 ③ お花茶屋公園 ④ 青戸平和公園 ⑤ 間栗公園 ※①～③は午前、④⑤は午後開催 ※地域指導員を中心とした自主運営 ※申込不要 ＜地域指導員の養成とスキルアップ＞ ・ 地域指導員養成講座 うんどう教室を自主運営するため、原則隔年で実施する。区が受講者を募集し、委託の専門指導員が講義と実技指導（7 回）を行う。 （令和 7 年度は実施なし、6 年度は実施） ・ 地域指導員スキルアップ講座 各公園 3 回ずつ、地域指導員を対象に専門指導員によるスキルアップ講座を実施する。うち 1 回は参加者及び地域指導員の体力測定を行う。 ＜令和 7 年度予算＞ <table><tr><td>地域指導員スキルアップ講座委託</td><td>330 千円×5 公園</td><td>1,650 千円</td></tr><tr><td>事業用消耗品</td><td></td><td>9 千円</td></tr></table>	地域指導員スキルアップ講座委託	330 千円×5 公園	1,650 千円	事業用消耗品		9 千円	 	
	地域指導員スキルアップ講座委託	330 千円×5 公園	1,650 千円						
事業用消耗品		9 千円							
担当課	福祉部 地域包括ケア担当課 介護予防係 電話 03-5698-6202								



事業概要 (視察項目)	運動習慣推進プラチナ・フィットネス
目的	一人でも多くの高齢者が自発的に運動に取り組むことで、要支援・要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で自立した生活を送れるようにする
概要	本事業は、区内のフィットネスクラブ（9施設）との協働により、本区が独自に実施しているものである。 <開始年度> 平成 25 年度 <対象者> 要支援・要介護認定を受けていない 65 歳以上の区民 （医師から運動を禁止されている者等を除く。） <内 容> 施設利用は原則毎週 1 回、全 12 回 3 か月程度の コース制とし、各施設が用意している運動メニュー の中から高齢者自身で選択する。 <特 徴> （１）どんな運動にどれくらい取り組むかは、高齢者自身が自分の興味や体力に 合わせ、インストラクターと相談して決める （２）最初に選んだ運動メニューが合わない場合、途中で変更することが可能 （３）フィットネスクラブを利用する日にちや時間は、高齢者自身が決める （４）フィットネスクラブの附帯設備（ロッカー、お風呂など）の利用が可能 （５）利用料の 3 分の 2 を区が補助（本人負担：6,000 円（全 12 回分）） （６）事業の利用は、同一年度内 1 人 1 度限り（平成 30 年度以降） <令和 7 年度予算> 補助金 3,200 千円 （その他パンフレット印刷代、区民及びクラブへの郵送代等あり） <その他> 利用者の利便性を図るため、オンライン申請及び往復はがき、窓口（高齢者総合 相談センター（14 か所）及びシニア活動支援センター）で申込みを受け付けてい る。
担当課	福祉部 地域包括ケア担当課 介護予防係 電話 03-5698-6202



（写真はイメージです）

事業概要 (視察項目)	社会福祉法人への事業委託による生活保護受給者就労支援事業																												
目的	稼働年齢層（18 歳から 65 歳未満の者）の生活保護受給者のうち、疾病や障害など就労阻害要因がないにもかかわらず、就労意欲や就労に関する能力に課題がある方に、専門性をもつ社会福祉法人が個別的な支援を行い就労に結び付ける。																												
概要	＜事業開始時期＞ 平成 23 年 6 月 ＜支援対象者の選定＞ (1) 一次アセスメント 区は稼働年齢層にある方について、就労の可否に関する一次アセスメントを実施し、就労の可能性がある方には、委託による二次アセスメントを実施する。 (2) 二次アセスメント 受託者は、対象者と個別面接を行い、職歴や健康状態などを聞き取り、対象者の課題を把握し、対象者に応じた支援方針、支援方法、支援目標を区に提案する。 (3) 支援対象者の決定 区は、二次アセスメントの結果を踏まえ、本人の同意を得たうえで、委託による支援対象者を選定する。 ＜支援の流れ＞ 受託者は次に掲げるプログラムを適切に組み合わせ、支援対象者個々の状況に即して支援を実施する。 (1) 支援プログラム ① 履歴書・職務経歴書作成講座 ② 職場におけるルール講座 ③ 定期面談・職業カウンセリング ④ ハローワークの利用方法の講習 ⑤ 模擬面接 ⑥ 職場体験講習 ⑦ 訪問相談等 (2) 求職活動支援 プログラムを活用し、就職の準備が整った対象者に、ハローワークなどへの同行支援を行い、1 週間に 3 度を目途とする求職活動の支援を行う。 (3) 就職者の職場定着にむけた面談 就職を決定した者には 1 週間後、1 か月後、3 か月後に職場定着を目的とした面談を行う。 ＜支援期間＞ 3 か月を基本とし、目標が未達成の場合さらに 3 か月の延長を行う。 ＜事業実績＞ <table><thead><tr><th>年度</th><th>二次アセスメント 実施者数</th><th>就労支援者数</th><th>就労者数</th><th>就労して保護廃止 になった人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>3</td><td>67 人</td><td>73 人</td><td>20 人</td><td>2 人</td></tr><tr><td>4</td><td>60 人</td><td>59 人</td><td>16 人</td><td>0 人</td></tr><tr><td>5</td><td>74 人</td><td>83 人</td><td>24 人</td><td>0 人</td></tr><tr><td>6</td><td>70 人</td><td>93 人</td><td>30 人</td><td>0 人</td></tr></tbody></table> * 就労支援者数及び就労者数は延べ人数。				年度	二次アセスメント 実施者数	就労支援者数	就労者数	就労して保護廃止 になった人数	3	67 人	73 人	20 人	2 人	4	60 人	59 人	16 人	0 人	5	74 人	83 人	24 人	0 人	6	70 人	93 人	30 人	0 人
	年度	二次アセスメント 実施者数	就労支援者数	就労者数	就労して保護廃止 になった人数																								
3	67 人	73 人	20 人	2 人																									
4	60 人	59 人	16 人	0 人																									
5	74 人	83 人	24 人	0 人																									
6	70 人	93 人	30 人	0 人																									
担当課	福祉部 西生活課 自立支援担当係 電話 03-5654-8586																												



事業概要 (視察項目)	東京労働局及び墨田公共職業安定所と連携した生活保護受給者等への就労支援事業																																														
目的	東京労働局及び墨田公共職業安定所（ハローワーク墨田）と葛飾区との連携により、求人情報の提供、職業紹介、職業訓練の斡旋等を実施する窓口を葛飾区役所内に設置し、生活保護受給者等の就労促進を図っている。																																														
概要	＜事業開始時期＞ 平成25年8月																																														
	＜設置施設及び場所＞ (1) 設置施設 就職支援コーナーかつしか (2) 設置場所 葛飾区立石五丁目13番1号 葛飾区役所本庁舎 4階 (3) 開設時間 月～金曜日 9時～17時 (区役所開庁日のみ)																																														
	＜支援対象者＞ (1) 生活保護受給者及び生活保護の相談・申請段階にある者 (2) 住居確保給付金受給者及び住居確保給付金の相談・申請段階にある者 (3) 児童扶養手当の受給者及び児童扶養手当の相談・申請段階にある者 (4) 生活困窮者自立相談支援事業の利用者 (5) 高齢者、障害者及び若年者等の生活困窮者			【就職支援ナビゲーターへ相談中の利用者】																																											
	＜就労支援体制＞ (1) 葛飾区 ① 就労支援専門員（生活課）・・・ 4人 ② 就労支援事業受託者の支援員（生活課）・・・ 4人 ※ その他、生活課査察指導員、ケースワーカーも就労支援を行っている。 ③ 自立相談支援員（くらしのまるごと相談課）・・・ 14人 ④ ひとり親家庭就労専門相談員（子育て応援課）・・・ 2人 (2) 墨田公共職業安定所（ハローワーク墨田） ① 就職支援ナビゲーター・・・ 2人																																														
	＜支援の流れ＞ (1) 支援対象者の中から葛飾区の職員が稼働能力・就労意欲がある者を選定し「就職支援コーナーかつしか」へ案内する。 (2) 就職支援ナビゲーターは、支援対象者の個々のニーズに合わせた求人情報の提供、職業紹介、職業訓練の斡旋等を実施し、早期就職に向けた支援を行う。																																														
	＜事業実績＞																																														
	<table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="3">目標</th><th colspan="3">実績</th></tr><tr><th>対象者数</th><th>就職者数</th><th>就職率</th><th>対象者数</th><th>就職者数</th><th>就職率</th></tr><tr><td>令和 3</td><td>200人</td><td>134人</td><td>67.0%</td><td>200人</td><td>139人</td><td>69.5%</td></tr><tr><td>令和 4</td><td>200人</td><td>127人</td><td>63.5%</td><td>180人</td><td>130人</td><td>72.2%</td></tr><tr><td>令和 5</td><td>200人</td><td>129.2人</td><td>64.6%</td><td>180人</td><td>134人</td><td>74.4%</td></tr><tr><td>令和 6</td><td>200人</td><td>136.6人</td><td>68.3%</td><td>198人</td><td>139人</td><td>70.2%</td></tr></table>						年度	目標			実績			対象者数	就職者数	就職率	対象者数	就職者数	就職率	令和 3	200人	134人	67.0%	200人	139人	69.5%	令和 4	200人	127人	63.5%	180人	130人	72.2%	令和 5	200人	129.2人	64.6%	180人	134人	74.4%	令和 6	200人	136.6人	68.3%	198人	139人	70.2%
年度	目標			実績																																											
	対象者数	就職者数	就職率	対象者数	就職者数	就職率																																									
令和 3	200人	134人	67.0%	200人	139人	69.5%																																									
令和 4	200人	127人	63.5%	180人	130人	72.2%																																									
令和 5	200人	129.2人	64.6%	180人	134人	74.4%																																									
令和 6	200人	136.6人	68.3%	198人	139人	70.2%																																									
担当課	福祉部 西生活課 自立支援担当係 電話 03-5654-8586																																														

事業概要 (視察項目)	健康プラザかつしか（「健康部（保健所）」「青戸保健センター」「子ども総合センター」）
目的	福祉分野・保健分野・衛生分野のサービスを複合的に提供し、地域の方々が健康で安心な生活を送れるよう支援する。「健康部（保健所）」「青戸保健センター」「子ども総合センター」の複合施設である。
概要	【１階】 ～親と子の子育てと健康に関わるフロア～ ○子育てひろば 乳幼児と親が気軽に集い、相談、学びあい、情報交換を行える場です。 ○親子カフェ 乳幼児と親をはじめ、来館された方が気軽に立ち寄れる喫茶コーナーです。 ○健診エリア（診察室・計測室・予診室・歯科室・相談室） 主に乳幼児の健診を行っており、育児相談日には、個室でゆっくりとお話をうかがうこともできます。待ち時間には広々とした明るい待合ロビーで、ゆったりと過ごしていただくことができます。 ○小ホール 各種講演会や健康教育、保健指導などを実施します。 【２階】 ～健康プラザの事務機能が集まるフロア～ <健康部（保健所）>…地域保健課、生活衛生課、健康推進課、保健予防課 ○地域保健課 電話 03-3602-1231 保健衛生行政の企画、施設の維持管理や休日応急診療所など、地域医療を担当しています。 ○生活衛生課 電話 03-3602-1242 食の安全に関すること、犬や猫等の動物に関すること、害虫やねずみの駆除等の生活環境の衛生に関すること、薬局・診療所に関する業務を担当しています。 ○健康推進課 電話 03-3602-1268 健康診査、がん検診、受動喫煙対策、食育推進、健康づくり、生活習慣病や歯科疾患の予防のための健康教育を担当しています。 ○保健予防課 電話 03-3602-1274 自立支援医療、精神障害者福祉手帳、難病医療費助成・手当、結核・感染症対策、予防接種に関することを担当しています。 ○健診エリア（X線室） 乳がん検診を行っています。



＜青戸保健センター＞

○青戸保健センター 電話 03-3602-1284

葛飾区ゆりかご面接（妊婦面接）、乳幼児の健康診査ならびに育児相談、2か月児の会・育児学級、精神保健、難病対策、地域の健康づくりを担当しています。

＜子ども総合センター＞…子育てひろば（1階）、親子カフェ（1階）、子ども家庭支援課（2階）

○子ども家庭支援課 電話 03-3602-1386

福祉専門の相談員と保健所職員が連携しながら、妊娠・出産から子どもの成長に合わせた、子どもと家庭の総合的な支援を行います。

【3階】

○栄養室

ライフステージに応じた、食と栄養を考える教室や講座を行います。生活習慣病予防のための食生活などについて調理実習や試食をまじえ実施します。



担当課

健康部 地域保健課 電話 03-3602-1231

事業概要 (視察項目)	旧松上小学校跡地を活用した病院誘致 (イムス東京葛飾総合病院の開設)
目的	超高齢社会を迎える中で、今後の医療ニーズの増加に対応するため、より強固な地域医療の連携体制を構築し、区民が必要とする医療を継続的に安定して受けられるよう、区内医療環境の充実を図ります。
概要	＜開設年月日＞ 平成 29 年 5 月 1 日 「基本計画（平成 25 年度～平成 34 年度）」の重要プロジェクトの一つである「区内医療環境の充実」を図る取組みの一環として、公募により、旧松上小学校跡地に民設民営の病院誘致を行いました。 ＜病院誘致の経緯＞ ・平成 24 年度 区内の医療需給状況等の調査を実施 ・平成 25 年 4 月 東京都保健医療計画の改定により、区東北部二次保健医療圏における病床数の 642 床の不足 ・平成 25 年 6 月～ 「旧松上小学校跡地を活用した病院誘致公募」を実施 ・平成 25 年 10 月 4 日 区と公募で最優秀提案者となった医療法人社団明芳会が、新病院開設に向けた覚書を締結 ・平成 26 年 3 月 24 日 区と明芳会にて、病院の整備及び運営に関する基本協定を締結 ・平成 26 年 8 月～ 旧松上小学校校舎などの解体工事（区実施） ・平成 27 年 6 月 1 日 区と明芳会との「定期借地権設定契約書」に基づき、明芳会に土地を貸与 ・平成 27 年 10 月～平成 29 年 3 月 新病院建設準備工事・本体工事（明芳会実施） ・平成 29 年 3 月 新病院竣工 ・平成 29 年 5 月 1 日 イムス東京葛飾総合病院開設 ＜病院施設概要＞ ○名称：イムス東京葛飾総合病院 ○所在地：葛飾区西新小岩 4-18-1 ○敷地面積：9,771.52 ㎡ ○延床面積：15,354.18 ㎡ ○階数：地上 9 階 地下なし ○病床数：377 床 ○診療科目：内科、循環器内科、消化器内科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、眼科、小児科、アレルギー科、糖尿病内科、腎臓内科、形成外科（開設後も診療科目の拡充に努める。） ○開設・運営：医療法人社団明芳会  
担当課	健康部 地域保健課 電話 03-3602-1231

事業概要 (視察項目)	子ども未来プラザ鎌倉
目的	葛飾区では、「葛飾区版ネウボラ」を推進し、妊娠期から子どもが成人するまで一貫したサポートを実施しています。子ども未来プラザ鎌倉は、葛飾区版ネウボラ推進の一翼を担う妊娠期からの切れ目ない支援、0歳から高校生世代までの子どもが利用できる総合的な子育て支援の施設として2020年1月に開設した施設です。
概要	子ども未来プラザ鎌倉で行っている主な事業等は以下のとおりです。 <ゆりかご葛飾> 親子健康手帳（母子健康手帳）の交付とともに子育て相談員による妊娠・出産の様々な相談をお受けする「ゆりかご面接」を行っています。 <乳幼児健診と健康教室> 3～4か月児健診、ハッピーバースデイすくすく歯科健診（1歳）、1歳6か月児健診、3歳児健診、2か月児の会などを保健センターから出張して行います。 <すくすく広場> すくすくルームで楽しく遊んで過ごすことができます。ふれあい遊びや体操、年齢別グループ活動、のびのび相談なども行っています。 <いっとき預かり◆ぱんだ◆> 保育園や幼稚園に通っていない在宅のお子さんをお預かりします。 <給食体験◆もぐもぐランチ◆> 温かい保育園の給食を親子で楽しく食べることができます。 <交流保育◆笑みフル◆> 発達に心配や不安のあるお子さんを対象に、保育園の集団生活を体験する場を提供します。 <あそびの広場> 工作や読書、ボードゲームなどをして友達と楽しく過ごすことができます。 <まなびの広場> 宿題や自分の興味のあることを調べることができる場所です。勉強や進路について分からないことや不安なことがあれば、スタッフに相談することもできます。 <南鎌倉保育園> ・保育時間：午前7時15分～午後7時15分 ・特別事業：延長保育、障がい児保育、0歳予約入園、緊急一時保育など 【施設概要】 所在地：葛飾区鎌倉1-7-3 電話：03-3658-1800（代表） 開館時間：午前9時～午後8時（日曜日・祝日、小学生以下は午後6時まで） 休館日：第4日曜日、年末年始  外観  すくすくルーム
担当課	子育て支援部 子育て政策課 電話03-5654-8293

事業概要 (視察項目)	子ども未来プラザ西新小岩
目的	葛飾区では、「葛飾区版ネウボラ」を推進し、妊娠期から子どもが成人するまで一貫したサポートを実施しています。子ども未来プラザ西新小岩は、葛飾区版ネウボラ推進の一翼を担う妊娠期からの切れ目ない支援、0歳から高校生世代までの子どもが利用できる総合的な子育て支援の施設として2022年7月に開設した施設です。本施設があるにこわ新小岩は、地域活動センター・保健センターなど4つの施設が一体となった複合施設です。
概要	子ども未来プラザ西新小岩で行っている主な事業等は以下のとおりです。 <ゆりかご葛飾> 親子健康手帳（母子健康手帳）の交付とともに子育て相談員による妊娠・出産の様々な相談をお受けする「ゆりかご面接」を行っています。 <乳幼児健診と健康教室> 3～4か月児健診、ハッピーバースデイすくすく歯科健診（1歳）、1歳6か月児健診、3歳児健診、2か月児の会などを新小岩保健センターと連携して実施しています。 <すくすく広場> すくすくルームで楽しく遊んで過ごすことができます。ふれあい遊びや体操、年齢別グループ活動、のびのび相談なども行っています。 <いっとき預かり◆ぱんだ◆> 保育園や幼稚園に通っていない在宅のお子さんをお預かりします。 <給食体験◆もぐもぐランチ◆> 温かい保育園の給食を親子で楽しく食べることができます。 <交流保育◆笑みフル◆> 発達に心配や不安のあるお子さんを対象に、保育園の集団生活を体験する場を提供します。 <あそびの広場> 工作や読書、ボードゲームなどをして友達と楽しく過ごすことができます。 <まなびの広場> 宿題や自分の興味のあることを調べることができる場所です。勉強や進路について分からないことや不安なことがあれば、スタッフに相談することもできます。 <上平井保育園> ・保育時間：午前7時15分～午後7時15分 ・特別事業：延長保育、障がい児保育、0歳予約入園、緊急一時保育など 【施設概要】 <子ども未来プラザ西新小岩>（にこわ新小岩内） 所在地：葛飾区西新小岩4-33-2 電話：03-5698-1700 開館時間：午前9時～午後8時（日曜日・祝日、小学生以下は午後6時まで） 休館日：第2日曜日、年末年始  外観  内観（受付）
担当課	子育て支援部 子育て政策課 電話03-5654-8293

事業概要 (視察項目)	子ども未来プラザ東四つ木
目的	葛飾区では、「葛飾区版ネウボラ」を推進し、妊娠期から子どもが成人するまで一貫したサポートを実施しています。子ども未来プラザ東四つ木は、葛飾区版ネウボラ推進の一翼を担う妊娠期からの切れ目ない支援、0歳から高校生世代までの子どもが利用できる総合的な子育て支援の施設として2024年1月に開設した施設です。
概要	子ども未来プラザ東四つ木で行っている主な事業等は以下のとおりです。 ＜ゆりかご葛飾＞ 親子健康手帳（母子健康手帳）の交付とともに子育て相談員による妊娠・出産の様々な相談をお受けする「ゆりかご面接」を行っています。 ＜乳幼児健診と健康教室＞ 3～4か月児健診、ハッピーバースデイすくすく歯科健診（1歳）、1歳6か月児健診、3歳児健診、2か月児の会などを保健センターから出張して行います。 ＜すくすく広場＞ すくすくルームで楽しく遊んで過ごすことができます。ふれあい遊びや体操、年齢別グループ活動、のびのび相談なども行っています。 ＜いっとき預かり◆ぱんだ◆＞ 保育園や幼稚園に通っていない在宅のお子さんをお預かりします。 ＜給食体験◆もぐもぐランチ◆＞ 温かい保育園の給食を親子で楽しく食べることができます。 ＜交流保育◆笑みフル◆＞ 発達に心配や不安のあるお子さんを対象に、保育園の集団生活を体験する場を提供します。 ＜あそびの広場＞ 工作や読書、ボードゲームなどをして友達と楽しく過ごすことができます。 ＜まなびの広場＞ 宿題や自分の興味のあることを調べることができる場所です。勉強や進路について分からないことや不安なことがあれば、スタッフに相談することもできます。 ＜渋江保育園＞ ・保育時間：午前7時15分～午後7時15分 ・特別事業：延長保育、障がい児保育、0歳予約入園、緊急一時保育など 【施設概要】 所在地：葛飾区東四つ木2-15-11 電話：03-5698-1702（代表） 開館時間：午前9時～午後8時（日曜日・祝日、小学生以下は午後6時まで） 休館日：第3日曜日、年末年始  外観  すくすくルーム
担当課	子育て支援部 子育て政策課 電話03-5654-8293

事業概要 (視察項目)	かつしか出産応援給付金給付事業
目的	子どもを産み育てる子育て世帯を応援するため、出生した児童を養育する世帯を対象に、かつしか出産応援給付金を支給することで、出産に係る経済的負担の軽減を図るもの
概要	1 助成対象者 葛飾区に在住し、1歳未満の児童を養育する世帯 2 給付額 対象児童1人当たり5万円（1回に限る） 3 申請・給付方法 ・助成対象者は、児童手当認定請求又は子ども医療証交付申請と同時に、同一書式により、本給付金の申請を行う。 ・区は、審査完了後、申請書に記載の指定口座に給付を行う。 4 申請期限 出生または転入により支給対象者となった日から1年以内 5 その他 助成対象者に係る所得制限は特になし。
担当課	子育て支援部 子育て応援課 電話 03-5654-6357

事業概要 (視察項目)	子ども2人乗せ自転車等購入費助成事業
目的	子育て世帯における外出時の安全性・利便性を確保し、移動に関する負担の軽減や外出促進を図るため、小学生未満の子どもを養育する世帯を対象に、幼児二人同乗基準適合自転車（子ども2人乗せ自転車）等の購入費の一部を助成するもの
概要	1 助成対象者 以下の要件全てに該当する方 ●購入日及び申請日において、葛飾区に在住し、小学生未満の子どもを1人以上養育していること。 ●申請日において、本人又は同じ世帯の方が、過去3年以内に本事業の助成を受けていないこと。 2 助成対象品目 ●<u>幼児2人同乗基準適合自転車本体</u> 安全基準を満たすBAAマーク及び幼児2人同乗基準適合車マークの両方が付いている自転車（防犯登録必須） ●<u>上記自転車本体を購入した際の防犯登録料</u> ●<u>幼児用座席</u> SGマークが付いているもの（防風雨シートカバーは助成対象外） ●<u>幼児用ヘルメット</u> SGマークが付いているもの ●<u>電動アシスト付き子ども2人乗せ自転車に対応するメーカー純正バッテリー</u>（充電器は助成対象外） ※いずれも新品かつ令和7年4月1日以降に対象店舗で購入したものに限る。 ※ネット購入（店頭受け取りも含む）や他の補助金を既に受けている製品は助成対象外 3 対象店舗 ●区内の東京都自転車商協同組合加盟店 ●区内に店舗を有する自転車販売店 4 助成上限額 5万円（購入金額の2分の1を助成） 
担当課	子育て支援部 子育て応援課 電話 03-5654-6357

事業概要 (視察項目)	ベビーカー購入等費用助成事業
目的	子育て世帯が移動手段として使用するベビーカーや抱っこ（おんぶ）紐、ベビースリング、ヒップシートを安価で購入等できるようにすることで、負担の軽減を図り、外出を促進するもの
概要	1 助成対象者 以下の要件全てに該当する方 ●購入日（レンタル開始日）及び申請日において、葛飾区在住であること。 ●購入日（レンタル開始日）において、親子健康手帳（母子健康手帳）の交付を受けていること。 ●申請日において、同一世帯の3歳未満の子ども（対象児童）を1人以上養育していること。 ●過去に同一のベビーカー等に対する他の助成金の交付を受けていないこと。 2 助成対象品目 令和7年4月1日以降に購入（レンタル開始）した以下の品目 ●ベビーカー本体（単胎児用・多胎児用いずれも対象） ●抱っこ（おんぶ）紐 ●ベビースリング ●ヒップシート ※購入店舗の制限なし（ネット購入も助成対象） ※購入の場合、中古品は助成対象外 3 助成上限額 購入等費用の2分の1（上限額：<u>1万5千円／対象児童</u>）  
担当課	子育て支援部 子育て応援課 電話 03-5654-6357

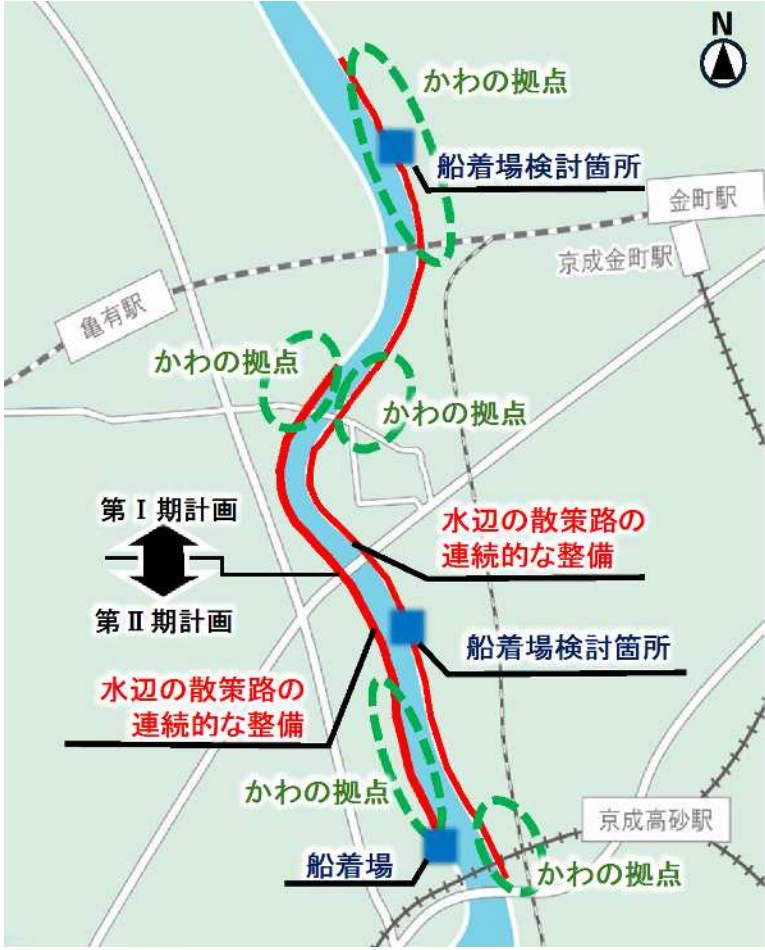
事業概要 (視察項目)	葛飾区児童相談所
目的	児童相談所は、時には法的介入なども含めた専門的な支援を担い、児童福祉司、児童心理司、医師、保健師、弁護士など、専門スタッフによる相談や支援を行います。 区民に寄り添う支援を行う子ども総合センターと両輪となり、子どもの健やかな成長を願って、共に考え、問題を解決していく専門の相談機関です。
概要	* 相談の種類 * 原則 18 歳未満の子どもに関する相談であれば、子ども本人、家族、学校の先生、地域の方々など、どなたからでもお受けします。 養育相談 ・ ・ 虐待や養育困難に関する相談 保健相談 ・ ・ 乳児、早産児、子どもの疾患等、健康管理に関する相談 障害相談 ・ ・ 知的発達、肢体不自由、発達障害等に関する相談 非行相談 ・ ・ 家出、万引き等に関する相談 育成相談 ・ ・ 不登校、しつけ等に関する相談 【施設概要】 名 称：葛飾区児童相談所（令和 5 年 10 月 1 日開設） 所 在 地：葛飾区立石 2－3 0－1 相談窓口：03－5698－0303 （月～金曜日）午前 8 時 30 分～午後 5 時（祝日・年末年始を除く） ※ただし、電話による虐待通告は毎日 24 時間受け付けています。 
担当課	児童相談部 児童相談課 電話 03-5698-0303

事業概要 (視察項目)	子ども総合センター
目的	福祉分野と保健分野が連携して、妊娠・出産から子どもの成長に合わせた子どもと家庭の総合的な支援を行う。
概要	—子どもと家庭の総合相談— 電話 03-3602-1386（月～土曜日※祝日、年末年始を除く） 区内に住む 18 歳未満のお子さんとその家庭に関する相談について、相談者のお話を伺いながら一緒に考え、問題解決に向けてお手伝いします。 「子育てについて」 * 育児に不安や負担を感じている。 * 子どもを怒鳴ったり叩いたりしてしまう。 * 子育てについて家族の理解や協力が得られない。など 「お子さん自身について」 * 家に帰りたくない。 * 学校に行きたくない。 * いじめがある。など 「情報について」 * 子育て支援に関すること など 「近隣家庭について」 * 激しい怒鳴り声や子どもの泣き叫ぶ声が頻繁に聞こえる。 * 小さな子どもだけでいつも遊んでいる。 * 子どもに不自然な傷がある。 など —子どもの発達相談— 電話 03-3602-1388（月～金曜日※祝日、年末年始を除く） 小学校入学前までのお子さんの発達に関する相談を専門スタッフがお受けします。 「お子さんの発達で気になることがあったら」 * 言われていることがわかっていない様子がある。 * 一方的な話し方で、やり取りになりにくい。 * 発音が聞き取りにくい。 * からだの動きがぎこちない。 * 落ち着きがなく、すぐ気が散る。 * 友達とうまく関われない、トラブルが多い。 * なんとなく他の兄妹や周りの子とちがう。 など お子さんの様子をお聞きし、専門職による発達の確認を通して関わり方のより良い方法について一緒に考えます。また、必要な場合には発達検査を行い療育機関等の支援サービスのご紹介をします。 —親子健康手帳（母子健康手帳）・妊婦健康診査受診票交付、医療給付の受付等— 電話 03-3602-1387（月～金曜日※祝日、年末年始を除く）
担当課	児童相談部 子ども家庭支援課 電話 03-3602-1386



事業概要 (視察項目)	子育てひろば「いろは」
目的	地域の中で楽しく子育てするために知識・情報を交換できる子育て親子の交流の場
概要	「いろは」は、概ね0歳から3歳のお子さんと保護者の交流や遊びの場としてご利用できます。年齢別の集い、ふたごの集い、季節の行事、音楽に関する催し、土曜日の身長・体重測定などを行っております。 子育てに関する本や絵本の貸出し、「おもちゃファイル」の閲覧など、ご家庭での子育てに活かせるよう情報提供を行っています。 スタッフは、親御さんに精一杯向き合い、お子さんの成長を共に喜ぶ存在でありたいと思っています。 —利用にあたって— 登録していただき自由にご参加ください。利用は無料です。 子育て中の悩みも丁寧に伺います。 月～土曜日（祝日・年末年始を除く） 午前9時～午後5時（月齢等で時間の一部制限あり） 連絡先 住所 葛飾区青戸 4-15-14（子ども総合センター内） 電話 03-6240-7591 親子カフェ「アリス」も併設しています。遊びスペースを備え、遊ぶお子さんを見守りながら利用ができます。離乳食、アレルギー対応食をお持ちこみいただけます。地域の作家の作品（ポーチ、ヘアアクセサリほか）も販売しています。 月～土曜日 午前10時～午後4時（祝日・年末年始を除く）
担当課	児童相談部 子ども家庭支援課 電話 03-3602-1386



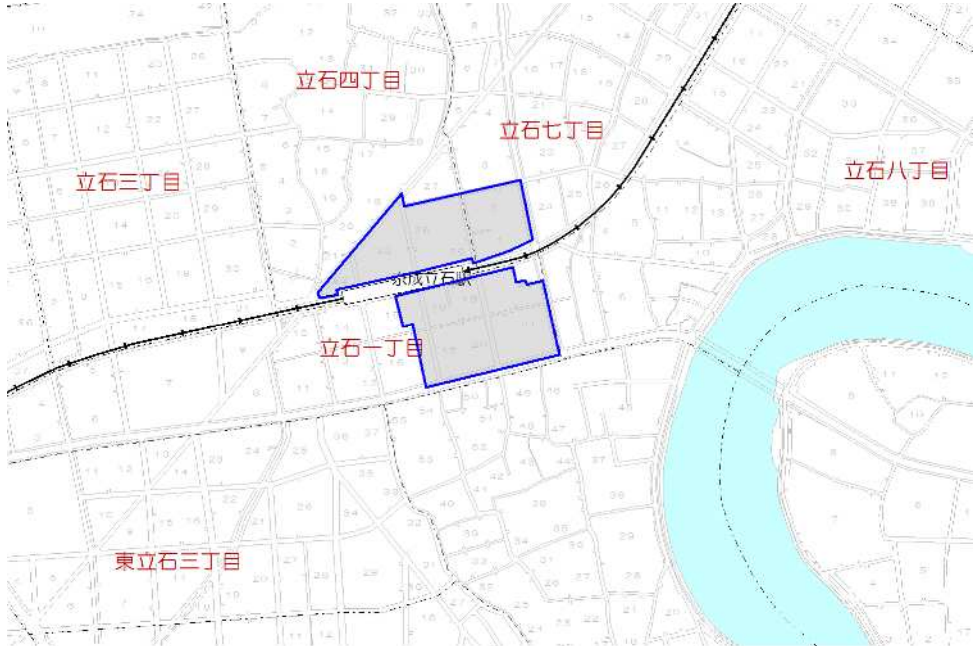
事業概要 (視察項目)	中川かわまちづくり
目的	河川空間のオープン化を進め、それぞれの地区でのイベントやお祭り、様々な活動などを川まで広げることで、他区にはない、葛飾ならではの「かわ」を活かしたまちづくりを進めます。
概要	本区は、江戸川、荒川・綾瀬川、大場川に囲まれ、さらに中央部に中川、新中川が流れ、豊富な河川資源に恵まれており、江戸川や荒川では、河川敷において野球やマラソン大会などのレクリエーション、イベントが楽しめる川となっています。 高砂橋から上流の国土交通省が管理する中川において、河川・水辺空間の賑わい創出を図るため、区では、国の「かわまちづくり支援制度」を活用して、国土交通省が行う水辺の散策路等の整備に加え、飲食等も楽しめる拠点整備、災害時だけでなく、舟運等にも活用できる船着場や河川・水辺空間までの動線整備など、身近に感じることができる水辺空間の整備を進めます。  詳しくは、区公式サイトをご覧ください。 リンク先 https://www.city.katsushika.lg.jp/planning/1003614/1033115.html
担当課	都市整備部 調整課 かわまちづくり担当係 電話 03-5654-6353

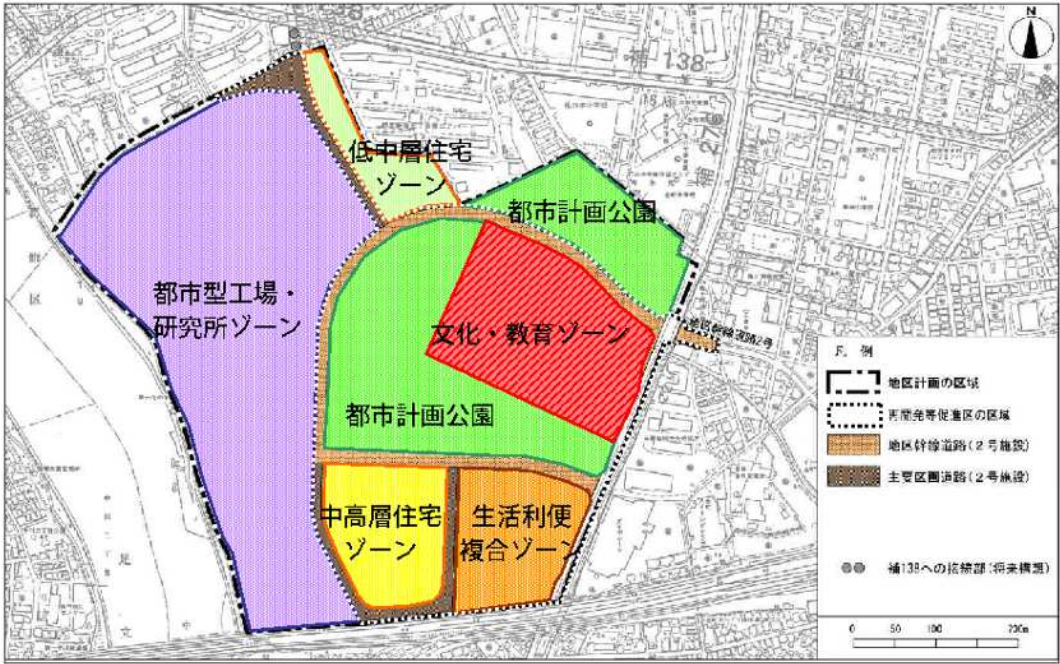
事業概要 (視察項目)	グリーンスローモビリティを用いた地域主体交通実証運行												
目的	地域組織が運行主体となって車両を運行し、高齢者等の移動手段を確保												
概要	■地域主体交通とは ● 地域が主体 : <u>住民自ら運転</u>を担う「互助」の取組 ● 地域を活性化 : 移動手段を増やして、地域住民の<u>外出を支援</u> ● 小さな移動サービス : <u>路線バスが入れない幅の狭い道路</u>などで<u>小型車両</u>を運行 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>役割分担</th><th>費用分担</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 運転手・事務員の確保 運行計画の検討 車両の運行 事故対応 協賛金の募集 </td><td> 有償ボランティア代※ (運転手分) </td></tr> <tr> <td> 運行計画検討補助 警察協議 法令確認 </td><td> 車両貸出・修理 任意保険 安全講習費 電気・駐車場代 有償ボランティア代※ (運転手を除く) </td></tr> </tbody> </table> ※ボランティア代を支払わない場合は不要 ■葛飾区における取組：グリーンスローモビリティを用いた地域主体交通実証運行 実証運行の概要 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>運行主体 東立石グリスロ運営協議会</td> <td>道路運送法上の位置付 許可・登録を要しない運送</td> </tr> <tr> <td>実証運行期間 2023.10.4～2025.3.31</td> <td>運行時間 9:00～16:00</td> </tr> <tr> <td>運行日 火曜日、土曜日</td> <td>料金 無 料</td> </tr> </table> グリーンスローモビリティ仕様 ➢ 時速 20 km未満で走行する電動自動車 ➢ 8 人乗り(運転席含む) ➢ 全長 4050 mm×全幅 1500 mm×全高 2300 mm ➢ 充電時間 7～10 時間 ➢ 満充電走行距離 80km 詳しくは、区公式サイトをご覧ください。 リンク先 https://www.city.katsushika.lg.jp/planning/1030243/1003616/1033082.html	役割分担	費用分担	運転手・事務員の確保 運行計画の検討 車両の運行 事故対応 協賛金の募集	有償ボランティア代※ (運転手分)	運行計画検討補助 警察協議 法令確認	車両貸出・修理 任意保険 安全講習費 電気・駐車場代 有償ボランティア代※ (運転手を除く)	運行主体 東立石グリスロ運営協議会	道路運送法上の位置付 許可・登録を要しない運送	実証運行期間 2023.10.4～2025.3.31	運行時間 9:00～16:00	運行日 火曜日、土曜日	料金 無 料
役割分担	費用分担												
運転手・事務員の確保 運行計画の検討 車両の運行 事故対応 協賛金の募集	有償ボランティア代※ (運転手分)												
運行計画検討補助 警察協議 法令確認	車両貸出・修理 任意保険 安全講習費 電気・駐車場代 有償ボランティア代※ (運転手を除く)												
運行主体 東立石グリスロ運営協議会	道路運送法上の位置付 許可・登録を要しない運送												
実証運行期間 2023.10.4～2025.3.31	運行時間 9:00～16:00												
運行日 火曜日、土曜日	料金 無 料												
担当課	都市整備部 交通政策課 交通計画係 電話 03-5654-8397												

事業概要 (視察項目)	金町駅周辺の街づくり
目的	金町駅周辺の道路等の基盤整備や駅の改修等により交通結接機能を向上させるとともに、商業・生活サービス機能の充実やそれらと調和した安全な住環境の整備を進め、広域拠点としての都市機能の充実を図ります。
概要	金町駅周辺地区では周辺開発に伴う人口や駅利用者の増加により、理科大学通りの歩道や北口駅前広場の狭さが顕著となり、歩行者等の安全性が低下しています。また、歩行者空間の不足や利用者の回遊が乏しいことから駅周辺のにぎわい低下が懸念されます。こうした状況を踏まえ、地区の将来像の実現に向け、具体的な取組を示した「金町駅周辺地区まちづくりプラン」を令和3年6月に策定し、基盤整備と一体となったまちづくりに取り組んでおります。 (出典：金町駅周辺地区まちづくりプラン) ○金町駅周辺地区まちづくりプラン リンク先： https://www.city.katsushika.lg.jp/planning/1003609/1003628/1026630.html ○金町六丁目地区市街地再開発事業（完了） リンク先： https://www.city.katsushika.lg.jp/planning/1003609/1003628/1003650.html ○金町六丁目駅前地区市街地再開発事業（完了） リンク先： https://www.city.katsushika.lg.jp/planning/1003609/1003628/1003649.html ○東金町一丁目西地区市街地再開発事業（事業中） リンク先： https://www.city.katsushika.lg.jp/planning/1003609/1003628/1031214.html
担当課	都市整備部 都市計画課 金町街づくり担当係 電話 03-5654-8346

事業概要 (視察項目)	新小岩駅周辺の街づくり
目的	「葛飾区都市計画マスタープラン」(令和5年12月改定)で広域拠点として位置付けられている新小岩駅周辺の開発を地域住民と協働で推進していくもの。
概要	(1) 新小岩駅周辺の現況 新小岩のまちは昭和3年に開業したＪＲ新小岩駅を中心に発展し、ＪＲ総武本線快速電車が停車することによる都心へのアクセスの利便性の高さ（東京駅まで13分）や、葛飾区南部方面及び江戸川区からのバス路線のターミナル機能を有するなど、本区の南の最重要拠点として賑わいを見せています。また、駅周辺は鉄道（ＪＲ総武本線、ＪＲ貨物線）や平和橋通りによって区分された4地区で特性が異なります。 (2) 新小岩駅周辺の整備方針 「葛飾区都市計画マスタープラン」(令和5年12月改定)では、新小岩駅周辺は商店街の賑わいとの調和を図りながら、商業・業務機能の他、文化・交流・公益施設などの多様な都市機能の誘導や多世代にとって住みやすい質の高い住宅整備を進める「広域拠点」と位置付けています。 また、駅前広場や自由通路の整備により、交通結節機能を強化し、北口と南口の連携による駅周辺の回遊性を高めるとともに、街づくりの進展にあわせ、エリアマネジメントの取組を促進しています。 (3) まちづくりの推進 新小岩北・南地域まちづくり協議会が平成26年11月に「新小岩駅周辺地区街づくり基本計画」を策定しました。 区ではこの計画を実現していくため、令和5年4月に「新小岩駅周辺まちづくりプラン」を策定し、引き続き、基盤整備と一体となったまちづくりを進めています。 (4) これまでの状況 東北地区では、東北広場や新小岩東北自転車駐車場の整備を、南北の駅前広場ではバリアフリー改修等工事を行いました。 東南地区では、区内初の地下機械式の公共自転車駐車場を令和4年9月に開設しました。 平成25年度から工事に着手した新小岩駅南北自由通路は、令和5年3月に全線開通しました。 また、南口地区市街地再開発事業の工事が始まり、令和6年5月から解体工事に着手しました。 新小岩駅南口地区市街地再開発事業 整備イメージ (新小岩駅南口地区市街地再開発組合作成) (5) 詳しくは、区公式サイトをご覧ください。 リンク先 https://www.city.katsushika.lg.jp/planning/1003609/1003628/index.html
担当課	都市整備部 都市計画課 新小岩街づくり担当係 電話 03-5654-8331

事業概要 (視察項目)	高砂駅周辺の踏切対策に伴う街づくり
目的	高砂駅周辺の交通利便性や安全性・防災性を向上させ、魅力と活力ある広域拠点形成することを目的に、地元住民によるまちづくり勉強会の支援を行い、鉄道立体化と一体となったまちづくり計画を作成します。
概要	京成高砂駅付近の踏切は、ピーク時の遮断時間が1時間のうち50分以上にも達する「開かずの踏切」です。この踏切は、永年にわたり地域の発展を阻害し、交通渋滞を引き起こしているばかりでなく、歩行者の安全性や利便性の観点からも大変深刻な状況を招いています。 こうした踏切問題の解決に向け、区及び関係機関は地元住民の方々のご協力のもと、高砂駅周辺の交通利便性や安全性・防災性を向上させ、魅力と活力ある広域拠点を形成していくことを目的に、連続立体交差化の検討を契機とした地域主体のまちづくりを推進するため、地元のまちづくり活動の支援を行っています。  高砂1号踏切 詳しくは、区公式サイトをご覧ください。 リンク先 https://www.city.katsushika.lg.jp/planning/1030243/1003616/1003756.html
担当課	都市整備部 都市計画課 高砂地域整備担当係及び高砂鉄道立体担当係 電話 03-5654-8344

事業概要 (視察項目)	立石駅周辺地区街づくり
目的	立石駅周辺地区では、再開発により防災性・利便性・快適性の向上と、商業の活性化を図ることにより、連続率体交差事業と連携し、区中心部として活力と魅力にあふれた広域拠点を形成します。
概要	〈地区の現況〉 立石駅周辺地区は、道路等の都市基盤が未整備のまま市街化したため、細街路が多く、老朽した家屋が密集して建っています。防災性や居住環境の向上、商業環境の改善によるまちの活力向上など、様々な課題の解決が望まれる地域です。現在、連続立体交差事業と連携して、住民主体で再開発事業による安全・安心な街づくりを進めています。 〈対象範囲〉 立石一、四、七丁目の一部  〈まちづくり検討区域面積〉 約 4.5 ヘクタール (北口地区：約 2.2 ヘクタール、南口地区：約 2.3 ヘクタール) 詳しくは、区公式サイトをご覧ください。 リンク先 http://www.city.katsushika.lg.jp/planning/1003609/1003628/1003653.html
担当課	都市整備部 都市計画課 立石駅周辺地区街づくり事務所 立石駅南街づくり担当係 電話 03-5670-3174

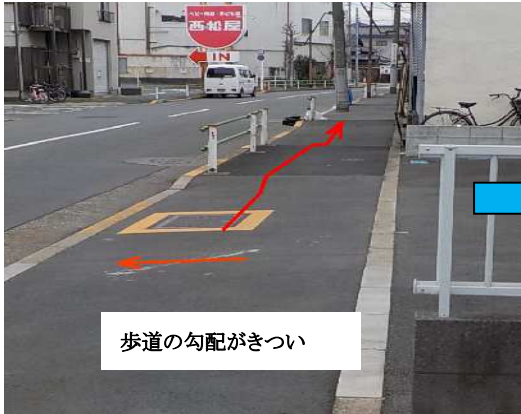
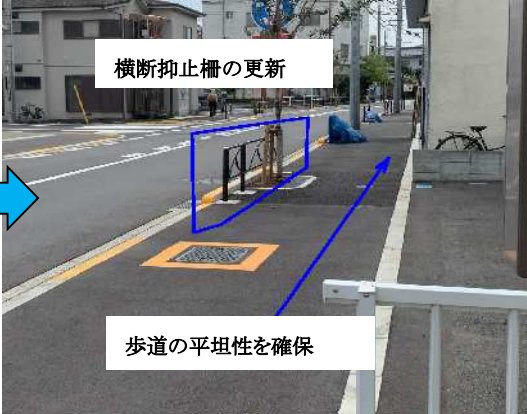
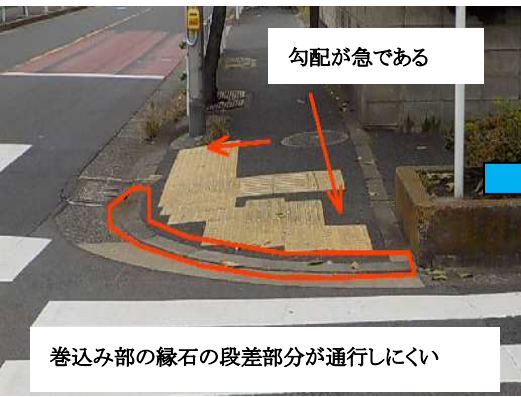
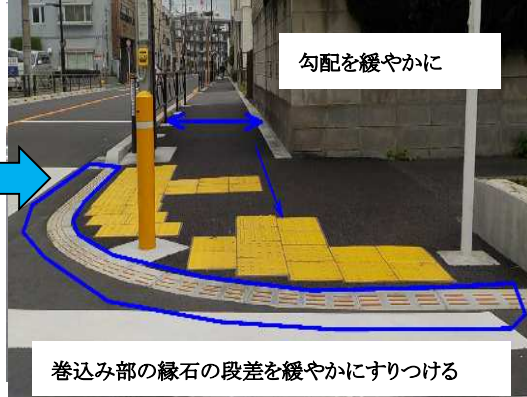
事業概要 (視察項目)	新宿六丁目地区の街づくり
目的	金町駅周辺や南水元地区などの周辺市街地と連携しつつ、新たな生活拠点の形成及び工場と住宅などが共生する良好な都市環境を備えた複合開発市街地の形成を図ります。
概要	街づくりに様々な影響を与える大規模工場跡地開発であり、地区計画制度や用途地域の変更などにより、大学を核として、地区の特性を生かした街づくりを進めています。 当該地区では、大学の開学に合わせた道路や公園などの基盤整備を行ってきました。今後も民間事業者等と連携、協力して、まちづくり方針に基づく街づくりの実現を目指します。 詳しくは、区公式サイトをご覧ください。 (新宿六丁目地区地区計画) リンク先 https://www.city.katsushika.lg.jp/planning/1003609/1003629/1003662.html 
担当課	都市整備部 都市計画課 地域街づくり担当係 電話 03-5654-8332

事業概要 (視察項目)	堀切地区の街づくり
目的	地域住民と協働し、堀切菖蒲園などの地域資源や歴史・文化などを活かした、安全で快適な魅力ある街づくりを目指す。
概要	堀切地区は木造建築物の密集する地域であり、災害に対する脆弱性が度々指摘されています。また、当地区は京成線堀切菖蒲園駅を中心として、古くからの個人商店を多く抱える地域ですが、近年はその商業にも陰りが見え、さらに当地区は区内でも少子高齢化の顕著な地域でもあることから、地域の活性化の観点からも課題のある地域です。 京成本線荒川橋梁架替事業を大きな契機として、平成 18 年に地元の方々により立ち上げられた「堀切地区まちづくり推進協議会」では、平成 22 年 3 月に「堀切地区まちづくり構想」、令和 4 年 3 月に「堀切菖蒲園駅周辺まちづくり構想」を取りまとめ、まちづくりを実現するために、活発な活動を続けています。 一方、区では、「堀切まちづくり推進協議会」への活動支援を行うとともに、「堀切地区まちづくり構想」等に基づき、橋梁架替事業や密集住宅市街地整備促進事業などと連携した街づくりを推進しています。  写真：京成本線荒川橋梁 堀切地区の街づくりの概要は、区公式サイトをご覧ください。 リンク先 https://www.city.katsushika.lg.jp/planning/1003609/1003632/1003682.html https://www.city.katsushika.lg.jp/planning/1003609/1003632/1037894.html
担当課	都市整備部 都市計画課 地域街づくり担当係 電話 03-5654-8332

事業概要 (視察項目)	防災街づくり（東四つ木、四つ木、東立石、堀切、西新小岩地区）
目的	木造住宅密集地域の狭い道路を拡幅し、防災活動拠点（公園）などを整備することで、災害時の避難、救助、消火活動を円滑に行えるようにし、防災性の向上と居住環境の改善を図る。
概要	＜事業概要＞ 本地区は狭隘な道路が多く、老朽した木造住宅が密集するなど、地震による建物倒壊や、火災による延焼の恐れ等の危険性が非常に高い状況となっています。 「住宅市街地総合整備事業（密集住宅市街地整備型）」（以下「密集事業」という。）を実施し、主要生活道路の拡幅整備、防災活動拠点や小広場の整備を行うことで、災害に強い街づくりを推進しています。 ＜事業地域＞ ・ 東四つ木三、四丁目（平成 10 年度密集事業開始。令和 4 年度密集事業終了）（平成 25 年 12 月 5 日不燃化特区指定） ・ 四つ木一、二丁目（平成 15 年度密集事業開始。令和 5 年度密集事業終了）（平成 25 年 4 月 26 日不燃化特区指定） ・ 東立石四丁目（平成 20 年度密集事業開始）（平成 26 年 4 月 1 日不燃化特区指定） ・ 堀切二丁目周辺及び四丁目地区（平成 27 年密集事業開始）（平成 26 年 4 月 1 日不燃化特区指定） ・ 西新小岩五丁目地区（令和 6 年度密集事業開始） ＜事業内容と効果＞ （１） 主要生活道路の拡幅整備  （事業前） ➡  （事業後） （２） 防災活動拠点の整備  （３） 小広場（ポケットパーク）の整備 
担当課	都市整備部 都市計画課 密集地域整備第一係、第二係、第三係 電話 03-5654-8345

事業概要 (視察項目)	地盤の液状化対策
目的	地震がもたらす地盤の液状化現象について区民が正しい知識を身につけ必要な対策を講じ、生活の拠点である住まいが沈下や傾斜により使用できなくなることを防止する。これにより、安心して住み続けられる街づくりを推進する。
概要	【窓口相談・説明会】 地盤の液状化による住宅の被害を軽減させるため、区で作成した液状化パンフレットを活用して窓口相談や説明会で情報提供を行う。 【地盤調査費助成】 建築敷地の地盤状況を把握し、必要に応じて対策の検討を促すために、住宅の新築や建替えの際に地盤調査や液状化判定調査に要する費用の一部を助成する。 (助成限度額50万円) 【液状化対策費助成】 地盤の液状化による住宅の被害を軽減させるため、液状化対策に要する費用の一部を助成する。 (助成限度額130万円) 【地盤の液状化判定調査者派遣】 地盤の液状化の可能性及びその程度を把握することで、地震による建築物の液状化被害の予防を図るため、地盤調査を専門に行う事業者を派遣する。 (区からの無料派遣) 詳しくは、区公式サイトをご覧ください。 リンク先 https://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1003399/1030171/1017885.html
担当課	都市整備部 建築課 建築安全係 電話 03-5654-8552

事業概要 (視察項目)	都市計画道路の整備
目的	①活力 ～都市活力の強化～ ②防災 ～都市防災の強化～ ③暮らし ～安全で快適な都市空間の創出～ ④環境 ～都市環境の向上～
概要	葛飾区内の都市計画道路（区施行）は、計画延長 52.9 kmのうち 35.2 kmが整備済みであり、整備率は 66.5%となっています。（令和 7 年 5 月現在） 東京都と本区を含めた区市町は「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」を平成 28 年 3 月に策定しました。平成 28 年度から令和 7 年度までの 10 年間で優先的に整備する路線として、葛飾区内においては 13 路線を選定しました。 この整備方針に基づき、都市計画道路の整備とあわせて無電柱化を推進します。 無電柱化の必要性 ・安全で快適な歩行空間の確保 ・道路の防災性の向上 ・良好な景観形成や観光振興 無電柱化のイメージ （出典：国土交通省 HP 無電柱化の手法） 都市計画道路補助第 264 号線 （細田東区間） 整備前 （幅員 9.0m） 整備後 （幅員 18.0m）
担当課	都市整備部 道路建設課 電話 03-5654-8389

事業概要 (視察項目)	歩道勾配改善事業
目的	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づく道路の移動円滑化整備ガイドラインに従い、既設の歩道を改修することで、高齢者や障害者等、誰もが安全で快適に通行できる道路環境を整備する。
概要	(開始時期) 平成 12 年度 (対 象) 既にマウンドアップ形式の歩道が整備された道路のうち、公共施設や駅等を結ぶ道路、高齢者や障害者等の通行が多い道路約 20 kmを選定する。 (手 法) 歩道をセミフラット形式に改修し、歩道の勾配を横断方向で 1 %程度、縦断方向で 5 %以下として、歩道の平坦性を確保する。 (施工例) 令和 2 年度 堀切八丁目地区 (改善前・後の写真)    
担当課	都市整備部 道路補修課 電話 03-5654-9584

事業概要 (視察項目)	葛飾区の公園づくり
目的	区民のニーズや地域特性を踏まえ、多くの人々に親しまれ、憩いの場となる公園を整備する。
概要	葛飾区では、身近に四季の花や緑を感じられる憩いと安らぎの空間など、小さいお子様からお年寄りまで、みなさまに利用しやすい公園づくりを心がけています。 令和7年4月現在、区内には公園・児童遊園を合わせると314か所あります。  小菅東スポーツ公園  葛飾にいじゅくみらい公園  堀切菖蒲園  鎌倉公園 詳しくは、区公式サイトをご覧ください。 リンク先 https://www.city.katsushika.lg.jp/planning/1003408/1003554.html
担当課	都市整備部 公園課 電話 03-3693-1777

事業概要 (視察項目)	葛飾区科学教育センター「未来わくわく館」
目的	子どもたちの理科への興味関心を高め、科学的な考え方を育むことを目的として、整備しました。
概要	本施設は、気軽に見て、触れて、操作ができる体験型展示装置を備え、体験を通して科学への驚きや気づきが得られる施設です。また、東京理科大学葛飾キャンパス内の図書館棟1階という立地を生かし、大学との連携を深め、様々な協働事業を展開しています。 1 展示室（令和元年9月に展示物一部改修） ・空気ラボ 竜巻・台風・強風・真空・風の力・スピーキングパラボラなどの実験・体験ができます。 ・水のラボ 3種類のポンプを動かし、位置エネルギー・渦・水流などの実験・体験ができ、ジャンボシャボンやバブルリングなど実験・体験ができます。 ・光のラボ 鏡の不思議・光の不思議・ストロボ映像装置などの実験・体験ができます。 ○リニューアルした展示物（代表例） ジャンボシャボン 沈むボール 空気のバスケット 真空中のドローン スピーキングパラボラ 2 実験室・工作室 本格的な設備・備品を備えた実験室と工作室です。様々な実験・観察・工作イベントを実施しています。
担当課	教育委員会事務局 教育指導課 教育振興係 電話 03-5654-8573

事業概要 (視察項目)	ポニースクールかつしか
目的	幼児から中学生（障害児対象教室は 20 歳まで）までの異年齢の子どもたちが、ポニーの世話や乗馬、子ども同士、スタッフとの交流を通して豊かな人格形成を図ることを目的としています。
概要	事業内容 1 引き馬 内容 係員が引く馬で馬場内を 1 周乗馬する 対象 3 歳から小学生まで 2 個人教室 (1) 健常児対象教室 内容 ポニーの世話、馬小屋掃除や餌作り、馬場整備等の軽作業、特別学習、乗馬 対象 区内在住又は在学の小・中学生（登録制） ・ 小学 1 年生から中学 3 年生までが参加していますが、乗馬技術、学年等を考慮し、レベル別に 7 クラスに編成しています。 ・ 小学 1 年生からは、軽乗というアクロバット乗馬を、小学 4 年生からは 1 人で乗馬しグループで練習をする部班教室も取り入れています。  (2) 障害児対象教室（パートナーアニマル） 内容 ポニーの世話、馬小屋掃除や餌作り、馬場整備等の軽作業、乗馬 対象 区内在住又は在学・在勤の小学生から 20 歳まで（登録制） ・ 障害の種別・程度を相談の上参加できます。 ・ 初心者には引き手（リーダー）1 名、場合によって補助 1 名の 2 名がつきます。この補助は、親・ボランティアまたは健常児教室の上級レベルの子が手伝っています。また、体操のプログラムを行っています。 3 団体教室（健常児団体、障害児団体） 内容 人參あげ、ポニーの世話、馬小屋掃除、乗馬 対象 中学生以下の団体（幼稚園、保育園、特別支援学校、障害児団体 等） 4 特別事業 葛飾区子どもまつり、区民感謝乗馬デー（年 2 回）、スポーツフェスティバル、クリスマスホースショー、卒業生お祝い会、新春マラソン大会
担当課	教育委員会 地域教育課 電話 03-5654-8482

事業概要 (視察項目)	葛飾区郷土と天文の博物館
目的	博物館資料の展示や各種講座を通じて、郷土「かつしか」の歴史や文化・自然等を学び地域への理解・関心・郷土愛の醸成を図る。加えて、プラネタリウムや講座を通じて、最新の宇宙・科学の情報を発信し、宇宙への夢を育み、科学への関心と興味を高め、科学教育の促進を図る。
概要	プラネタリウムで宇宙の果てまでの旅を楽しむ 「葛飾区郷土と天文の博物館」のプラネタリウムは、レンズを使って星を写す「光学式」とCGで宇宙を表現する「デジタル式」が融合したシステムです。 ゆったりとした空間で宇宙への旅が楽しめます。また、天文展示室は、デジタルサイネージにより常に最新情報を 提供しています。 オリジナル番組の投映 当館独自のプラネタリウム番組を生解説で投映しています。 科学教育の普及の取り組み 子どもの「宇宙への夢を育み、科学への関心と興味を高める」ことを目的として、プラネタリウムを活用した「かつしか宇宙塾」シリーズや「星の学校」を開講しています。また、区立小中学校を始め、幼稚園・保育園などに天体の学習の場として広くご利用いただいています。 区民ボランティアとの協働 郷土分野、天文分野合わせて4つのボランティア団体と協働し、様々な事業の企画・運営、調査研究などを行っています。 郷土の展示 古代から現代まで時間軸に沿った編年展示であり、時代の流れを追って葛飾の歴史を紹介する展示内容となっています。中世は、葛西城跡から発掘された資料などを展示しています。近世は、花の新名所として脚光を浴びた堀切の花菖蒲を中心に、花菖蒲栽培の道具や図譜類を展示しています。さらに、浮世絵などの絵画資料はデジタル化した画像や映像を、音楽とともに鑑賞できるシステムを導入し、見て聞いて楽しめる展示を展開しています。また、多くのお客様に区の歴史を学んでいただけるよう、展示室のバリアフリー化を行いました。 最新情報はこちらから https://www.museum.city.katsushika.lg.jp/
担当課	教育委員会 生涯学習課 郷土と天文の博物館 電話 03-3838-1101

事業概要 (視察項目)	かつしか郷土かるた全区競技大会
目的	子どもたちが、葛飾の自然や文化、歴史等が盛り込まれた「かつしか郷土かるた」で競技をすることを通じて、ふるさと葛飾についての知識や理解を高め、郷土愛の醸成を図るとともに、地区同士の交流を深める機会とするために、各地区の代表者を集めた「全区競技大会」を開催する。
概要	1 主催 葛飾区・葛飾区教育委員会 2 協力 葛飾区青少年育成地区委員会 (第 13 回全区競技大会に選手を出場させる地区) 3 日時 令和 8 年 2 月 8 日 (日) 10 時～13 時 (予定) 4 会場 テクノプラザかつしか 2 階 大ホール (葛飾区青戸 7-2-1) 5 出場資格 各青少年育成地区委員会主催の競技大会で選出された選手、又は、会長推薦の選手で、各地区以下の部の 1 チームずつが出場資格を得る。 【小学 3 年生の部】 <u>3 年生のみで構成された 3 人 1 組のチーム</u> 【小学 4 年生以上の部】 <u>4 ～ 6 年生で構成された 3 人 1 組のチーム</u> 6 実施方法 (1) 競技の種目と選手数 ① 競技の種目 各地区競技大会で選出された 3 人 1 組が対抗して行う団体競技 ② 選手数 各地区最大 2 チーム (上記「出場資格」にある 2 つの部から各 1 チーム) (2) 競技方法 事前に決定された組み合わせのもと、全 3 試合を行う。 順位は、勝敗数で決定する。勝敗数が同点の場合は、①総取り札点数、②シンボル札「く」の取った回数、③最終試合の取り札点数の多い順で決定する。 ルールは、「かつしか郷土かるたの遊び方～競技大会用ルール～」を用いる。 (3) 審判員・読み手 葛飾区青少年育成地区委員会代表者 葛飾区教育委員会推薦の者 (4) 賞状・賞品 各部の 1 ～ 3 位に賞状と賞品を、また、6 位までに賞状を贈呈する。 
担当課	教育委員会 生涯学習課 電話 03-5654-8474

事業概要 (視察項目)	葛飾区東金町運動場スポーツクライミングセンター
目的	本施設は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の競技種目であるスポーツクライミング3種目（リード・スピード・ボルダリング）の競技施設を整備し、区民の気運を醸成しながら、スポーツに親しみ、健康づくりに取り組むことができる施設として、令和2年4月に完成しました。
概要	1 所在地 葛飾区東金町八丁目 31 番 1 号 2 開館時間 9 時～21 時 3 休館日 毎月第 2 水曜日 4 施設概要 (1) ボルダリング棟（屋内） 建築面積 565.50 m² 鉄骨造 地上 1 階建て ボルダリングウォール高さ 5 m、幅 30m 諸室：事務室、更衣室、シャワー室、 トイレ、器具庫  (2) クライミング棟（屋外） 築造面積 215.31 m² 鉄骨造  リードウォール：高さ 16m 幅 12m（4 レーン） スピードウォール：高さ 16m 幅 6 m（2 レーン） ※IFSC(国際スポーツクライミング連盟) 認定 
担当課	教育委員会 生涯スポーツ課 電話 03-3691-7111

事業概要 (視察項目)	葛飾区立中央図書館
目的	中央図書館は、平成 21 年に J R 金町駅前の複合施設 3 階に整備しました。駅前の立地を生かし、誰もが利用しやすいようにワンフロアでユニバーサルデザインを取り入れ、夜間も開館しています。また、当館では、自動貸出機・セルフ予約棚・自動返却仕分機の設置、座席予約システムの導入、館内の所定エリアでの公衆無線 LAN の利用やオンラインデータベースの提供など、充実した I C T 環境を整え、図書等の貸出・返却の効率化や利用者の多様なニーズに対応しています。さらに、地域の貴重な資料をデジタル化し、「かつしかデジタルライブラリー」として全国に発信しています。
概要	1 施設概要 所在地 葛飾区金町六丁目 2 番 1 号 グイッス金町ブライコート 3 階 床面積 5023.56 ㎡ 蔵書数 423,720 冊 座席数 433 席 (令和 6 年 4 月 1 日現在)  2 開館時間・休館日 開館時間 月～土曜日 9 時～22 時 日曜日・休日 9 時～20 時 12 月 29・30 日・1 月 3 日 9 時～17 時 休館日 毎月第 4 木曜日（休日のときは翌日） 12 月 31 日～1 月 2 日 特別整理期間（年 1 回） 3 館内エリア 一般書エリア、児童書エリア、新聞・雑誌コーナー、ティーンズコーナー、地域資料コーナー、レファレンスカウンター、ビジネス I T コーナー、対面朗読室など 
担当課	教育委員会 中央図書館 電話 03-3607-9201

事業概要 (視察項目)	葛飾区立立石図書館
目的	立石図書館は、かつしかエコライフプラザとの複合施設として、平成 23 年にリニューアルしました。駅から近く夜間も開館しているほか、自動貸出機・セルフ予約棚・簡易返却機の設置など、新しい時代のニーズに対応するとともに、データベースが利用できるインターネットパソコンやビジネス支援コーナー、認知症コーナー（認知症ナビ）を設置しています。
概要	 1 施設概要 所在地 葛飾区立石一丁目 9 番 1 号 床面積 1,426.86 m² 蔵書数 115,729 冊 座席数 190 席 (令和 6 年 4 月 1 日現在) 2 開館時間・休館日 開館時間 月～土曜日 9 時～22 時 日曜日・休日 9 時～20 時 12 月 29・30 日・1 月 3 日 9 時～17 時 休館日 毎月第 4 木曜日（休日のときは翌日） 12 月 31 日～1 月 2 日 特別整理期間（年 1 回）  3 館内エリア  1 階 図書館カウンター 新聞・雑誌・CD コーナー 2 階 児童室 3 階 地域資料コーナー レファレンスカウンター ヤングアダルトコーナー ビジネス支援コーナー 4 階 ビジネスパソコンコーナー 閲覧席
担当課	教育委員会 中央図書館 電話 03-3607-9201

事業概要 (視察項目)	葛飾区立にいじゅく地区図書館
目的	令和3年に東京かつしか赤十字母子医療センターの1階に整備しました。 病院内の区立図書館という全国でもめずらしい特性を踏まえ、児童書や子育て関連の本を充実させ、子どもを迎える・育てる家族にとって知りたい情報を提供しています。
概要	1 施設概要 所在地 葛飾区新宿三丁目7番1号 東京かつしか赤十字母子医療センター内 床面積 246.22 m² 蔵書数 31,846 冊 座席数 8 席 (令和6年4月1日現在)   2 開館時間・休館日 開館時間 月～土曜日 10時～18時 日曜日・休日 10時～17時 休館日 毎月第4木曜日(休日のときは翌日) 年末年始(12月29日～1月3日) 特別整理期間(年1回) 3 館内エリア 一般書エリア、児童書エリア、雑誌コーナー、特集コーナー(東京かつしか赤十字母子医療センター院長おすすめ本) 
担当課	教育委員会 中央図書館 電話 03-3607-9201

事業概要 (視察項目)	開かれた議会への取組
目的	議会情報を積極的に発信し、議会活動と区政の周知拡大を図るとともに開かれた議会への取組を進めている。
概要	1 ホームページにおける情報公開 ① 議会年間予定 一年間の議会予定を年度当初に公開している。PDFファイルでダウンロードも可能で、日程の詳細の決定・変更などは適宜に同サイトでお知らせする。 ② 議長交際費 「葛飾区議会議長交際費の支出基準」をはじめ、議長交際費の支出状況を公開している。各月ごとの内訳と内容一覧もPDFファイルでダウンロードが可能。 ③ 委員会の行政視察報告 各常任委員会及び議会運営委員会が行っている行政視察の報告を、PDFファイルで公開している。 ④ 会議のネット中継 本会議及び予算審査特別委員会（総括質疑・採決）、決算審査特別委員会（採決）を生中継でライブ配信し、録画中継はオン・デマンド配信を行っている。平成26年8月からは、スマートフォン、タブレット端末にも対応。また、庁舎区民ホールの大型モニターで、本会議の生中継を来庁者向けに行っている。 ⑤ ホームページの多言語化 使用している端末（パソコン、スマートフォンなど）の言語設定（108カ国語）に合わせて自動翻訳されるサービスを導入している。 ⑥ 委員会資料の公開 委員会終了後、委員会資料をPDFファイルで公開している。 2 委員会傍聴者への資料提供 常任・特別委員会の傍聴者に対して、当日の委員会の内容がより分かりやすいように、委員と原則同じ資料の閲覧を行っている。委員会終了後、希望者はコピー（有料）が可能。 3 会議の公開 本会議、常任・特別委員会、議会運営委員会などの公式会議を公開としている。傍聴ならびに会議録の閲覧ができる。
担当課	区議会事務局 議事調査担当係 電話 03-5654-8503